

---

---

## 共同研究，学会等の活動状況

---

---

# 1 共同研究・受託研究(国内・外)の実施状況(1998年7月 - 2000年6月)

## (解剖学第一講座)

### (国内)

正村静子, 高橋 徹 : 食餌中のセルロース含量やアルギン酸含量が消化管内容物の粘性特性に与える影響(岐阜女子大学, 2000-)

早川大輔 : 海棲哺乳類の甲状腺・上皮小体の形態学的研究(伊豆三津シーパラダイス, 1998-)

### (国外)

正村静子, 早川大輔 : Arterial supply of the human joints. (Universitat Wurzburg, 1993-)

## (解剖学第二講座)

伊藤和夫, 中村浩幸 : サル・視覚連合野の解析(京都大学霊長類研究所, 1997-)

小野塚 實 : 高次脳機能の老化とその予防(神奈川県歯科大学, 1996-; 藤田保健衛生大学医学部, 1996-; 東京都老人総合研究所, 1996-), 唾液腺癌と性ホルモンレセプター(神奈川県歯科大学, 1990-), 類粘膜内 受容器の加齢変化(東京歯科大学, 1992-), 磁気共鳴機能画像法(fMRI)及び陽電子放射断層法(PET)による記憶情報処理システムの解明(木沢記念病院, 1999-; 養老中央病院, 2000-; 早稲田大学人間科学部, 2000-, 京都府立医科大学, 2000-)

## (生理学第一講座)

森田啓之 : 磁気共鳴イメージングによる門脈 - 肝臓領域 Na 感受性機構の中樞投射同定(岡崎国立共同研究機構・生理学研究所, 1997 - )

李 憲 : 神経伝達物質または神経調節因子としての一酸化窒素の役割に関する研究(京都大学医学部薬理学教室, 1992 - ), 培養神経細胞における非選択的陽イオンチャンネルの機能に関する生理学的・薬理的検討(京都大学医学部薬理学教室, 1996 - ), 培養交感神経細胞における電位依存性カルシウムチャンネルの機能に関する薬理的検討(Institute of Pharmacology, University of Freiburg, Germany and Institute of Physiology, Academy of Sciences of the Czech Republic, Czech Republic (ドイツ, フライブルク大学, 薬理学研究所およびチェコ共和国, チェコ共和国科学アカデミー, 生理学研究所), 1993 - )

渡邊和子 : 高齢期痴呆の予防医学的対応に関する基礎的研究(神奈川県歯科大学, 1996 - , 藤田保健衛生大学医学部, 1996 - , 東京都老人総合研究所, 1996 - , 岐阜大学農学部, 1998 - )

## (生理学第二講座)

恵良聖一, 桑田一夫, 中村浩二, 林 知也 : 分子分光法による血清アルブミンの高次構造に関する研究(岡崎国立共同研究機構・生理学研究所, 1997 - ), 電子スピン共鳴法によるタンパク質の分子運動解析(北海道教育大学・物理, 1993 - ), ラマン分光法によるタンパク質の動的挙動に関する研究(関西学院大学・理学部・化学, 1993 - )

桑田一夫 : 蛋白質フォールディング反応と 転移機構(大阪大学蛋白質研究所, 1997 - ), プリオン蛋白の構造・ダイナミクスと病原性(カリフォルニア大学サンフランシスコ校(UCSF), 2000 - )

(生化学講座)

PLD 遺伝子の脳内組織発現 (東北大学医学部・解剖学, 1994 - ), 真菌細胞の情報伝達分子の遺伝子解析 (名古屋大学大学院理学研究科・分子生物, 1995 - 1998), 病原性真菌の病原性因子の遺伝子解析 (CWRU, 米国, 1994 - ), ゲルゾリントランスフェクト線維芽細胞の機能解析 (北海道大学医学部・癌研究所分子遺伝, 1996 - ), 情報変換酵素 PLD の遺伝子および細胞機能解析 (ニューヨーク州立大, 米国, 1996 - ). PLD 遺伝子発現 (神戸大学理学部, 1997 - ). Tetrahymena 細胞の GTP シクロヒドラーゼの遺伝子クローニング (藤田保健衛生大学・総合医学研究所, 1997 - ), テロラヒメナ細胞の新規ストレス応答キナーゼの機能解析 (名古屋大学大学院理学研究科・分子生物, 1998 - 1999), 線虫ホスホリパーゼ D の機能解析 (名古屋大学大学院理学研究科・分子生物, 1998 - ), EDG 発現 CHO 細胞の情報伝達機構解明 (金沢大学医学部・生理学, 1999 - ), スフィンゴシンキナーゼの組織分布 (名古屋大学医学部・病態制御研究施設癌細胞, 1999-), アポトーシスの分子機構解析 (岐阜県国際バイオ研究所, 1999 - ), リボザイムによるシグナル伝達分子の機能制御 (通産省工業技術院, 2000 - )

日本学術振興会・日米科学協力事業共同研究: 細胞応答におけるホスホリパーゼ D (PLD) の活性調節機構と機能解析 (1997 - 1998)

科学技術庁総合研究: 生体膜脂質機能の解析制御技術の開発に関する研究 (1997 - 1999)

(分子病態学講座)

岡野幸雄, 木村正志, 吉岡 孝: AIKs 遺伝子のヒト細胞における機能解析 (IGMCB, Univ. Strasbourg, 1999-; 九州大学医学部, 1999-)

岡野幸雄, 伊藤賢一, 足立政治: 新規ユビキチン付加酵素遺伝子の機能解析 (東京薬科大学生命科学部, 1997-; 相模中央研究所, 1997-; ヘリックス研究所, 1999-)

(薬理学講座)

植松俊彦: 薬効解析のための PK-PD モデルの母集団薬物動態学的検討 (エーザイ (株) 臨床薬理センター, 1995-), 血管肥厚モデルにおける Z-335 の抑制効果 (ゼリア新薬工業 (株) 臨床開発部, 1998), 血管内膜肥厚に対する ONO-4817 の有効性薬理試験 (小野薬品工業 (株), 1998), セロトニン受容体拮抗薬サルボグレラートおよび活性代謝物の内耳血栓誘発平衡障害 (めまい) モデルに対する作用の検討 (東京田辺製薬 (株), 1998-1999), Brush Border Membrane における尿酸輸送に関する研究 (シェリングプラウ (株), 1999), 毛髪内薬物分析 (ユタ大学 Center for human toxicology, 1995-)

小澤 修: 血液循環障害予防および / または治療用医薬用組成物およびその有効成分であるペプチドに関する研究 (山之内製薬 (株) 創薬研究所, 1999-)

丹羽雅之: 新規キノロン系抗菌薬グレパフロキサシンの白血球機能に及ぼす影響 (大塚製薬 (株) 応用開発部, 1998-)

松野浩之: 線溶系因子ノックアウトマウスに関する共同研究 (近畿大学医学部第2生理学, 1998-), 血管肥厚と再狭窄のメカニズム (ベルギー、ルーバン大学医学部 Center for Molecular & Vascular Biology, 1995-), 血小板粘着とインテグリン機能 (ベルギー、ルーバン大学薬学部 Laboratory for Thrombosis Research IRC, 1995-)

(病理学第一講座)

森 秀樹：天然物質の 8 - hydroxy-deoxyguanosine 生成阻害作用 (産業医大産業形態研, 1998-), 植物成分の大腸発癌抑制の検討 (生産開発科学研, 1998-), Hydroxyanthraquinone 類の発癌性の検討 (中京女子大栄養科学, 1998-), 天然フラボノイド化合物による大腸発癌抑制 (静岡県立大学食品衛生学, 1998-), 天然抗酸化物質による発がん予防作用 (オリザ油化, 1998-), 天然性及び合成大腸がん抑制物質の発がん抑制機序の解析 (医薬品機構, 1999-), ベーター・グルクロニダーゼ阻害剤のラット大腸発癌に及ぼす影響とその作用機序に関する研究 (中外製薬, 1999), 米胚芽発酵生成物の発癌抑制に関する研究 (玄米酵素, 1999-), 機能食品の大腸がん抑制に関する研究 (岐阜大学農学部生物資源利用学, 2000-), ベーター・グルクロニダーゼ阻害剤の癌発生及び増殖抑制効果に関する研究 (中外製薬, 2000)

吉見直己：ベーター・グルクロニダーゼ阻害剤の発癌抑制作用 (コロラド AMC がんセンター, 1998-), erbB-2 トランスジェニックマウスの自然発生胆嚢癌の発生機構の研究 (テキサス MD アンダーソンがんセンター, 1999-)

(病理学第二講座)

Takami T (高見剛)：Adany Roza (Hungary Debrecen University), ヒト腫瘍の進展に関連する遺伝子変異の検討, 日ハンガリー科学技術協力協議 1998- 現在

(微生物学講座)

宇宙開発事業団 (受託研究) 1998-2000 まで：宇宙船内で選択的に生育する微生物相の系統解析と増殖因子の解析

三菱化学 (共同研究) 1999：全細菌の同定検出用 DNA マトリックスの開発

三洋電機 (共同研究) 2000：腸内細菌群の DNA 抽出方法の研究

BML (共同研究) 2000：呼吸器感染症の遺伝子診断方法の開発のために基礎的研究

ヤクルトバイオサイエンス財団 (共同研究) 1998-2000 まで：腸内細菌叢の遺伝子解析方法の開発

ラカン (共同研究) 1999-2000 まで：DNA マトリックスを使用した感染症の遺伝子診断方法の開発

タイミッドール大学 1998-1999：類鼻祖菌の病原因子の研究

タイ NIH 研究所 1998-1999：肺炎球菌の多剤耐性化の研究

中国食品微生物研究所 1998-1999：トウモロコシの食中毒を起こす病原体の遺伝学的解析

(衛生学講座)

井奈波良一：運動および健康食品のラット免疫機能に及ぼす影響 (岐阜薬科大学, 1996-)

高田晴子：小児における心血管疾患の危険因子 (米国・ノースカロライナ大学, 1995-)

(公衆衛生学講座)

清水弘之：コホート研究による発がん要因の評価法に関する研究 (名古屋大学医学部, 1993 - 1999), ロサンゼルス在住日系人・白人の生活習慣とがん罹患に関する研究 (南カリフォルニア大学医学部, 1993 - ), 特発性造血障害調査研究に関する研究 (東京女子医科大学, 1993 - 1998), HPV と子宮頸癌 (東京大学医学部分院, 1994 - 1999), 都市部および農村部の高齢者のうつ病に関する研究 (国立長寿医療研究センター, 1997 - 1999), がん一次予防のための生活習慣への効果的な介入に関する研究 (名古屋市立大学医学部, 1997 - 1999), ヒトがんの環境・宿主要因に関する疫学

的研究(愛知県がんセンター研究所, 2000 - ), 乳がん, 大腸がんの家族内集積性に関する研究(大阪大学医学部, 2000 - )

川上憲人: 職業性ストレスと健康に関する大規模長期コホート研究(労働省産業医学総合研究所他, 1996 - ), 職業性ストレスの日欧比較研究(ブリュッセル自由大学, 1996 - ), 地域住民を対象とした精神障害の疫学調査(国立精神保健研究所, ミシガン大学, 1995 - )

永田知里: HPV と子宮頸癌(東京大学医学部分院, 1994 - 1999), がん一次予防のための生活習慣への効果的な介入に関する研究(名古屋市立大学医学部, 2000 - )

(法医学講座)

大谷 勲, 武内康雄: 薬物代謝酵素の組織化学的研究(岐阜薬科大学, 継続中)

(寄生虫学講座)

高橋優三: 旋毛虫症(フランス CNEVA, 1998 - 継続中), 犬回虫症(神戸大学, 1994 - 継続中), プラストシスチスの遺伝子多型(奈良女子大学, 1995 - 継続中), エキノストーマの分類(山形大学, 1993 - 継続中), クリプトスポリジウムの遺伝子診断(大阪市立大学, 1996 - 継続中), タイ肝吸虫症と胆管癌の発生(コンケン大学, 1996 - 継続中)

(スポーツ医・科学講座)

高地トレーニングの有効性について岐阜県イベント・スポーツ振興事業団と共に研究及びデータ収集・分析・準備を行っている

運動に伴うヒト体表の Thermographic Imaging (岐阜大学バーチャルシステム・ラボラトリー、2000- ; 岐阜大学教育学部、2000-)

(内科学第一講座)

森脇久隆: 発癌予防に関する基礎的・臨床的研究(国立がんセンター, 癌研究会, 埼玉がんセンター, 東京女子医科大学, 1995-, Columbia 大学(米国), 1997-, 金沢医科大学, 日研化学(株), 1999-), 合成レチノイドによる肝発癌抑制(日研化学株式会社, 1998-), 高齢者の栄養アセスメントと栄養治療に関する研究(椋山女学園大学, 1998-, )重症肝疾患の予知とその対策に関する研究(木曽川町, 1997-)

奥野正隆: 肝線維化の病態と治療に関する研究(理化学研究所, 大阪市立大学, 1994-, Mount Sinai 大学(米国) 1996-, California 大学 Davis 校(米国) 1999-), TGF- 活性化機構に関する研究(近畿大学, 2000-), 肝発癌抑制に関する研究(Columbia 大学(米国), 1999-)

安藤量基: 肝炎の免疫学的発症機序に関する研究(The Scripps Research Institute(米国), 1993-, Washington University(米国), 1997-, 自治医科大学, 1997-, 愛知医科大学, 1997-, 岐阜市民病院, 1997-), 肝再生不全の免疫学的発症機序に関する研究(Hoffmann-La Roche(米国), 1997-, Wasington University(米国), 1997-, 自治医科大学, 1997-, 千葉大学, 2000-), ウイルス性肝炎の分子メカニズムに関する研究(The Scripps Research Institute(米国), 東京都神経科学総合研究所, 1998-, 農林水産省家畜衛生試験場, 1998-) 白鳥義宗: レチノイドによるがん細胞アポトーシス誘導メカニズム(Institute of Molecular and Cellular Genetics and Biology, 2000,)

(内科学第二講座)

- ニコランジルとミグリトール併用による梗塞サイズ縮小効果の相乗作用に関する研 (1998-1999)  
ニコランジルと他剤併用による梗塞サイズ縮小効果の相乗作用に関する研究 (1999-2000)  
塩酸セリプロロールの心筋梗塞およびアポトーシスに及ぼす影響 (2000-2001)  
心筋梗塞後の心血管イベント発生に関する研究 - 遮断薬と Ca 拮抗薬との比較 -The Japanese Beta blocker and Calcium antagonist in myocardial infarction JBCMI) study (1998-2001)  
厚生省健康科学総合研究：冠動脈インターベンション治療研究班 (1998-2000)  
厚生科学研究：急性心筋梗塞およびその他の虚血性心疾患の診療情報の整理に関する研究 (1999-2000)  
日本循環器学会学術委員会：冠動脈インターベンションのガイドライン (1998-1999)

(内科学第三講座)

- 武田則之： 人間ドック受診者を対象とした生活習慣と各種慢性疾患に関する臨床疫学的研究 (公衆衛生学講座, 1999 - )  
加納克徳： インスリン作用における分子機構に関する研究 (米国, 南フロリダ大学, 1999 - )  
諏訪哲也： 副腎の再生医学に関する研究 (米国 ベイラー医科大学, 1999 - )

(外科学第二講座)

- 杉山保幸： 生物反応修飾物質 (BRM) を用いた癌治療の基礎的, 臨床的研究 (米国, ローズウェルパーク癌研究所 1986-)

(産科婦人科学講座)

- 三嶋廣繁： 実験感染モデル (エーザイ東京研究所, 継続中), ラット子宮内感染モデルに対する L-627 の治療効果 (日本レダリー, 1998)

(整形外科科学講座)

- 清水克時： 郡上郡における大腿骨頸部骨折 (郡上中央病院, 1998)  
清水克時： 郡上郡における胸腰椎圧迫骨折 (郡上中央病院, 2000)  
清水克時： 結晶化ガラス製人工骨の骨との結合性評価 (日本電気硝子株式会社, 1998-2000)

(眼科学講座)

- 北澤克明, 山本哲也： 緑内障の病因と治療に関する研究 (厚生省, 東京大学医学部, 新潟大学医学部, 広島大学医学部, 慶応義塾大学医学部, 1997-2000)  
川瀬和秀： 緑内障眼における heat shock protein の研究 (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所, 2000)

(皮膚科学講座)

北島康雄：天疱瘡のシグナルトランスダクションにおけるリン酸化の研究(京都薬科大学・生命研究所・分子生体制御部門, 1993-), 水疱症に関する免疫電顕学的研究(慶應義塾大学医学部・皮膚科, 1995-), ヘミデスモゾームの形成と分散機序に関する研究(名古屋大学情報文化科学部・自然情報科, 1993-)

高木 肇：アトピー性皮膚炎皮膚における特性(ライオン株式会社・生物化学センター, 2000-)

(小児科学講座)

近藤直実：免疫不全症の分子遺伝学的研究(Karolinska Institute, スエーデン, 1993 -), BLM の核移行シグナルの同定(エイジーン研究所, 1997 -), BLM と協調的に働くタンパク同定(The Queensland Institute of Medical Research, オーストラリア, 1998 -), 毛細血管拡張性失調症および Bloom 症候群の原因蛋白の機能・相互作用の解明(The Queensland Institute of Medical Research, オーストラリア, 2000 -), アトピーの病因遺伝子解明(Univ of Wales Swansea, 英国, 2000-), ムコ多糖症動物モデルの開発(St Louis Univ, 米国, 1999), 小児気管支喘息患児と親または保護者の QOL(Quality of life) 調査票改訂版の開発(三菱化学株医療カンパニー, 1998-), 岐阜市の小児医療の向上に関する研究(1997-1998), 免疫アレルギー疾患病因蛋白質の立体構造解析(奈良先端科学技術大学院大学, 1997-), アトピー疾患の病因病態解明(順天堂大学, 2000-), アレルギー疾患における抗原呈示細胞 - 抗原 - T 細胞の相互作用(熊本大学, 1997-)

鈴木康之：ペルオキシソーム病の病因(信州大学医学部生化学, 1985 -), 副腎白質ジストロフィーの病態と治療(Johns Hopkins Univ, 米国, 1990 -), 新潟大学・九州大学・東海大学・富山医科薬科大学, 1999-), プラスマローゲン代謝異常(Amsterdam Univ, オランダ, 1996 -)

下澤伸行：ペルオキシソーム形成機構(姫路工業大学理学部生命科学, 1994 -), 遺伝性ペルオキシソーム欠損症の病因解明(九州大学理学部生物学, 1994-), 遺伝性ペルオキシソーム欠損症の相補性解析(Amsterdam Univ, オランダ, 1994 -), ペルオキシソーム病モデルマウスの作成(St Louis Univ, 米国, 1999-), ペルオキシソーム病の病理(トロント小児病院, カナダ, 2000-)

高橋幸利：グルタミン酸受容体による中枢神経系障害の早期診断・治療(東京大学, 1996-), 異種文化圏間の色彩認識差の科学的解析とマルチメディア環境下における色彩伝達への応用(京都工芸繊維大学, 1997 -), テレビ・パソコン等の CRT 映像による光感受性発作防止のための基礎的研究(京都工芸繊維大学・静岡東病院, 1998 -)

金子英雄：Chediak-Higashi 症候群の病因遺伝子の機能解析(信州大学, 1999-), ATM と BLM の会合(The Queensland Institute of Medical Research, オーストラリア, 2000 -), BLM マウスの機能解析(Harvard Medical School, 米国, 1999)

深尾敏幸： $\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症の病因解析(信州大学医学部生化学, 1988 -), ミトコンドリア酸化系異常症の病因解析(信州大学医学部生化学, Amsterdam Univ, オランダ, 1995 -), サクシニル - CoA : 3 - ケト酸 CoA トランスフェラーゼ欠損症の病因解析(Hopital Ste-Justine, カナダ, 1994 -), Ataxia-telangiectasia の病因解析(Tel Aviv Univ, イスラエル, 1995 -), The Queensland Institute of Medical Research, オーストラリア, 1997 -)

祐川和子：ムコ多糖症の分子病態解析とモデルマウス作成(St Louis Univ, 米国, 1995-), Sulfatase 酵素蛋白質の構造と機能解析(大阪大学蛋白質研究所, 1998-), リソソーム病の骨髄移植治療(東海大学小児科, 1986-)

伊上良輔：アレルギー疾患における抗原呈示細胞 - 抗原 - T 細胞の相互作用(熊本大学, 1997-)

加藤善一郎：免疫アレルギー疾患病因蛋白質の立体構造解析( 奈良先端科学技術大学院大学 ,1997- ), サイトカインレセプターのアンタゴニストペプチドの研究 ( ファルマデザイン , 1999- , 大阪大学蛋白質研究所 , 2000- )

( 放射線医学講座 )

兼松雅之：Focal hepatic lesion detection: comparison of four T2-weighted MR imaging pulse sequences ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 愛知県がんセンター放射線診断部 , 愛知 , 1998 )

兼松雅之：Detection of lymph-node metastases in patients with gastric carcinoma: comparison of three MR imaging pulse sequences ( 岐阜大学第 2 外科 , 岐阜 , 1998 )

兼松雅之：Fat-suppressed T2-weighted MR Imaging of hepatocellular carcinoma and metastases: comparison of conventional spin-echo, fast spin-echo, and echoplanar pulse sequences ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 京都大学核医学講座 , 京都 , 1998 )

兼松雅之：Detection of hepatocellular carcinoma: comparison of low- and high-spatial-resolution dynamic MR images ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 京都大学核医学講座 , 京都 , 1998 )

近藤浩史：Potential pitfall of MR cholangiopancreatography: right hepatic arterial impression of the common hepatic duct ( 岐阜大学第 1 内科 , 岐阜 , 1998 )

兼松雅之：Small hepatic nodules in cirrhosis: ultrasonographic, CT, and MR imaging findings ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 1998 )

兼松雅之：Focal hepatic lesion detection: comparison of four fat-suppressed T2-weighted MR imaging pulse sequences ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 京都大学核医学講座 , 京都 , 1998 )

兼松雅之：Evaluation of angiographically assisted spiral CT in surgical cases of hepatocellular carcinoma considering recurrent cases ( 岐阜大学第 2 外科 , 岐阜 , 1998 )

松尾政之：T2-weighted MR imaging for focal hepatic lesion detection: supplementary value of breath-hold imaging with half-Fourier single-shot fast spin-echo and multishot spin-echo echo-planar sequences ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 1999 )

兼松雅之：Single breath-hold T2-weighted MR imaging of the liver: value of single-shot fast spin-echo and multishot spin-echo echoplanar imaging ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 1999 )

兼松雅之：Revealing hepatic metastases from colorectal cancer: value of combined helical CT during arterial portography and CT hepatic arteriography with a unified CT and angiography system ( 愛知県がんセンター放射線診断部 , 愛知 , 1999 )

近藤浩史：Preoperative detection of malignant hepatic tumors: comparison of combined methods of MR imaging with combined methods of CT ( 大阪大学医学部生体情報医学講座 , 大阪 , 1999 )

兼松雅之：Pancreas and peripancreatic vessels: effect of imaging delay on gadolinium enhancement at dynamic gradient-recalled-echo MR imaging ( 岐阜大学第 1 内科 , 岐阜 , 1999 )



( 麻醉・蘇生学講座 )

過去の 3 年間に、新しい鎮痛薬 ( カプサイシン軟膏 )、麻醉補助薬 ( dexmedetomidine )、新しい経口オピオイド ( オキシコドン )、鎮静薬 ( 集中治療中の患者、ミダゾラム )、麻醉補助薬 ( dexmedetomidine )、新しい局所麻醉薬 ( ロピバカイン ) など、数件の受託研究を受けた。特に、麻醉補助薬 ( dexmedetomidine ) と新しい局所麻醉薬 ( ロピバカイン ) は、私どもが最初に海外企業と共同研究を始めた経緯もあって、その臨床導入が待たれるところである。また、数年前から国内企業と共同開発している『肺動脈ドブラカテーテルによる連続心拍出量測定法』の開発は、現在は科学研究費を得て継続して研究開発している

( 臨床検査医学講座 )

清島 満 : 動脈硬化発症メカニズムの解明 ( 名古屋大学医学部 , 1999 - )

斉藤邦明 : エイズ痴呆の病因解析 ( 東京大学医科学研究所 , 1996 - ; 農林水産省家畜衛生試験場 , 1996 - ; 名古屋大学医学部 , 1997 - ; 米国国立衛生研究所 , 1995 - ) , 炎症性サイトカインと IDO に関する研究 ( 藤田保健衛生大学総合医科学研究所 , 1996 - )

和田久泰 : ウイルス性心筋炎の発症と進展における TNF- $\alpha$  の役割 ( 群馬大学医学部 , 1997 - )

( 反射研究施設 )

松波謙一 : バーチャルリアリティを使用した人での宇宙医学の基礎的研究 ( 岐阜大学バーチャルシステムラボラトリー 1998 - )

川島卓 : 両側上肢運動時にサル大脳神経活動で観測される同期周期活動の研究 ( 米国ワシントン大学地域霊長類研究センターとの共同研究 : 1995- )

( 動物実験施設 )

新規合成セレニウムの発癌修飾作用 ( American Health Foundation、Naylor Dana Institute、1998- ) , 天然物質の 8 - hydroxydeoxyguanosine 生成阻害作用 ( 産業医大産業形態研 , 1998- ) , チオール化合物による肝発癌修飾作用 ( 静岡県立大学薬学 , 1998- ) , ミネラル強化酵母の発癌抑制効果 ( オリエンタル酵母 ( 株 ) )

( 薬剤部 )

片桐義博 , 杉山 正 : Carboxylesterase の精製と分類に関する研究 ( 岐阜薬科大学・薬剤学 , 1994 - ) , Dihydrodiol dehydrogenase の性状と機能に関する研究 ( 岐阜薬科大学・生化学 , 1997 - ) , 動脈硬化進展・治療モニタリングへの内皮細胞結合型活性酸素消費酵素の応用研究 ( 岐阜薬科大学・臨床薬剤学 , 1998 - )

片桐義博 , 杉山 正 , 林 秀樹 : 抗癌剤の薬物相互作用に関する細胞生物学的研究 ( 名城大学薬学部・生物学 , 1999 - )

( 輸血部 )

大塚節子 : 輸血後 GVHD 発症における免疫遺伝学的解析 ( 東京医科歯科大学難治疾患研究所成人異常代謝部門 , 1991- ) 同上 ( 岐阜県日赤血液センター , 1987- ) 同上 ( Tufts University; New England Medical Center 輸血部 , Boston , USA , 1987- )

(東洋医学講座(ツムラ))

赤尾清剛：慢性関節リウマチに対する鍼灸治療に関する研究(東京大学, 東京女子医大, 埼玉医大, 2000-)

(総合診療部)

a. インスリン情報伝達機構

石塚達夫：米国南フロリダ大学 R. V. Farese 教授とのインスリン作用機構に関する共同研究

b. 地域医療

石塚達夫, 森田浩之, 宇野嘉弘 ; " 過疎地域における生活習慣病の在宅モニタリングによる疫学的研究と -アミノ酪酸富化胚芽米摂取による生活習慣病への効果" に関してイセット株式会社と共同研究

c. 糖尿病合併症研究

石塚達夫：糖尿病性神経症治療薬 NZ-314(アルドース還元酵素阻害剤)の共同開発

石塚達夫, 森田浩之：BRL49653C の血小板凝集に対する効果

(高齢医学講座)

松山善次郎, 保住 功, 犬塚 貴：電位依存性カルシウムチャネル 1A サブユニットの異常により引き起こされる神経疾患の病態メカニズムの解明(岡崎国立共同研究機構生理学研究所, 1999-)

保住 功, 松山善次郎, 犬塚 貴：脳外傷障害モデルラットを用いた脳の修復再生・保護薬の検討(東京都老人研究所, 1999-、東京都神経研究所, 1999-、米国カリフォルニア大学 SanDiego 校, 1999-)

(医療情報部)

梅本敬夫：衛星と CATV を相互利用した大容量コンテンツ伝送システム(群馬大学, 信州大学, 2000-), 過疎地域における高齢農業従事者の生活習慣病予防を目的とした JA 健康管理システム(イセット株式会社, 1999-)

紀ノ定保臣：京都市山科地区における病診連携医療情報システムの構築(山科医師会, 1999-), 遠隔放射線診断システムの開発(京都府立医科大学, 1999-)

紀ノ定保臣：MRI を用いた心筋壁運動の解析(三重大学工学部, 1998-), MRI を用いた合成高分子ゲルの性状分析(名古屋工業大学, 1998-)

## 2 研究費の状況(1998年7月 - 2000年6月)

---

---

解剖学第二講座 文部省・基盤研究 C, 小野塚實：咀嚼運動による脳内遺伝子の加齢変化(1996-1997, 代表). 文部省・基盤研究 B(展開研究), 小野塚實：高齢化社会におけるヒトの加齢変化に関連する咀嚼機能の役割 -fMRI 機能画像法による解析(2000-2002, 分担). エッソ学術研究助成金, 小野塚實：高齢期痴呆の予防医学的対応に関する基礎的研究(1998, 分担). 文部省・基盤研究 C2, 中村浩幸：霊長類頭頂連合野における三次元空間視覚から運動空間構成に関与する神経回路(2000-2002, 代表)

生理学第一講座 文部省・基盤研究(B), 森田啓之：肝臓を介する予測制御的体液恒常性維持機構の解明：特に受容機構と中枢機構(1997 - 1999). 基盤研究(C), 渡邊和子：単一細胞レベルでの抑制性グルタミン酸レセプター遺伝子の抽出(1997 - 1998)

その他・生理学研究所研究会助成金, 森田啓之:「予測制御の生理学」研究会(1997 - 1999).(財)日本宇宙フォラム, 森田啓之:パラボリックフライトによる微小重力環境が腎交感神経活動に与える影響に関する研究(1998 - 2000). 金原一郎記念医学医療振興財団助成金, 森田啓之:研究交流助成金(1998).(財)ソルト・サイエンス研究財団, 森田啓之:門脈・肝臓領域  $\text{Na}^+$ ,  $\text{K}^+$  受容器を介する体液調節機構に関する研究(1999), 長期間の高  $\text{NaCl}$  食および高  $\text{KCl}$  食が門脈 - 肝臓領域  $\text{Na}^+$ ,  $\text{K}^+$  受容器発現および門脈・肝臓領域受容器を介する  $\text{Na}^+$ ,  $\text{K}^+$  調節機構の感度に及ぼす影響(2000)

生理学第二講座 文部省・基盤研究(C), 桑田一夫:ファンクショナルMRIによる大脳機能部位間の時間相関の研究(1998 - 2000, 代表). 文部省・基盤研究(B) 桑田一夫:蛋白質のフォールディング反応と機能発現における 転移反応の役割(1999 - 2000, 分担). 文部省・基盤研究(C) 桑田一夫:視覚の運動認知と空間認知の総合過程の検討 視運動刺激を用いた functional MRI による大脳活動の計測 (2000 - , 分担). 大学院創造性開発推進経費(海外研究開発動向調査費) 桑田一夫:(2000) その他・平成10年度教育改善推進費, 恵良聖一(代表):チュートリアル教育に伴う生命科学実習の充実(1998). 平成11年度中富健康科学振興財団研究助成金, 恵良聖一, 林 知也(分担):関節液アルブミンの酸化還元状態(1999)

生化学講座 文部省・重点領域研究(生体機能と設計分子), 野澤義則:膜リン脂質情報換系の蛋白質リン酸化による制御(1997 - 1998, 計画). 重点領域研究(神経可塑性), 野澤義則:NGF誘導神経突起伸長におけるコリン燐脂質代謝亢進の分子メカニズム(1997 - 1998, 公募). 創成的基礎研究費, 野澤義則:細胞内情報伝達機構網の研究(1994 - 1998, 分担). 基盤研究(B), 野澤義則:新規情報変換ホスホリパーゼ D (PLD) の分子遺伝学的研究による活性調節機構と機能解明(1997 - 1998, 代表). 文部省国際学術研究共同研究, 野澤義則:リポキナーゼの分子生物学的・遺伝子組織化学的研究(1997 - 1998, 分担). 特定領域研究(B), 野澤義則:分子遺伝学的手法による新規情報変換酵素ホスホリパーゼ D (PLD) の機能解析(1998 - 1999, 計画). 基盤研究(C), 中島 茂:アポトーシスにおける新規情報変換酵素ホスホリパーゼ D (PLD) の役割(1998 - 1999, 代表). 基盤研究(C), 坂野喜子:ヒト血小板接着・凝集におけるインテグリンシグナルの解析(1997 - 1998, 代表). 基盤研究(C) 坂野喜子:新規伝達物質スフィンゴシン1-リン酸の産生機構と受容体を介するシグナル伝達機構(2000 - , 代表) 基盤研究(B) 坂野喜子:膜脂質シグナリングによるアポトーシス誘導・制御機構の解明(2000 - , 分担) 日本学術振興会・日米科学協力事業共同研究, 野澤義則:細胞応答におけるホスホリパーゼ D (PLD) の活性調節機構と機能解析(1997 - 1998, 代表)

科学技術庁総合研究, 野澤義則:生体膜脂質機能の解析制御技術の開発に関する研究(1997 - 1999, 分担)

その他・全国牛乳普及協会牛乳栄養学術研究助成金, 坂野喜子:白血病細胞アポトーシス誘導新規ラクトフェリン分解産物の同定とその生理機能解明(1999). 内藤記念科学振興財団科学奨励金, 中島 茂:細胞の生・死を制御するコリンリン脂質代謝調節の分子メカニズム(1999). 全国牛乳普及協会牛乳栄養学術研究助成金, 坂野喜子:牛乳ラクトフェリン分解産物由来新規ガン細胞アポトーシス誘導ペプチドの同定とその生理機能解明(2000). 小野医学研究財団研究助成金, 中島 茂:脂質シグナル分子による神経細胞の生・死制御機構の解明(2000)

分子病態学講座 文部省・特定領域研究(A)(2), 岡野幸雄, 木村正志, 吉岡 孝:中心体キナーゼ Aikファミリーのがん細胞における発現(1999). 奨励研究(A), 木村正志:Aikの染色体分配における機

能の解析と Aik ファミリーの cDNA クローニング (1998-1999). 特定領域研究 (C)(2), 岡野幸雄, 木村正志, 吉岡 孝: AIK キナーゼファミリーの癌細胞における発現と機能 (2000). 基盤研究 (C)(2), 吉岡 孝, 岡野幸雄, 木村正志: AIK ファミリーの正常および癌組織での発現 (2000-2001). 奨励研究 (A), 木村正志: ヒト AIK ファミリータンパク質の細胞分裂における機能の解析 (2000-2001)

薬理学講座 文部省・国際学術研究, 植松俊彦: 薬害防止のための毛髪による薬歴・疾病治療歴診断手法の確立とその臨床応用 (1998). 基盤研究 B, 植松俊彦: 薬害防止のための毛髪による薬歴・疾病治療歴診断手法の確立とその臨床応用 (1999). 基盤研究 B, 植松俊彦: 網膜中心動脈の血栓性閉塞・溶解による新たな虚血再灌流モデルと薬理的神経細胞死制御 (2000-2002). 基盤研究 C, 小澤 修: 骨芽細胞におけるストレス応答に関する研究 (1998). 基盤研究 C, 小澤 修: 分子シャペロン、p20 の血小板凝集抑制作用に関する研究 (1999-2001)

その他・NBI Vision 奨学金, 植松俊彦: 毛髪中薬物測定による副作用の予測 (1998). かなえ医薬振興財団助成, 植松俊彦: 臨床毛髪分析研究会集会助成金 (1999). ぎふ生命科学研究推進協議会研究助成金, 丹羽雅之 (1999). 薬理研究会研究助成金, 植松俊彦: 網膜中心動脈の血栓性閉塞・再灌流に伴う網膜視神経細胞アポトーシス機序解明とその予防・治療のための薬理学的ストラテジーの体系化 (2000)

病理学第一講座 文部省・基盤 (C)(2), 森 秀樹: アポトーシス化学調節による大腸発癌の修飾 (1998, 代表). 文部省・がん特定, 森 秀樹: 発癌の化学予防; 大腸発がんの化学予防 (1998-, 分担). 文部省・基盤 (C)(2), 吉見直己: ラット炎症性大腸発癌モデルのベーター・カテニン遺伝子変異とその病理組織学的形態への影響 (1998-1999, 代表). 文部省・特定領域研究 (A), 吉見直己: がん化学予防におけるシクロオキシゲナーゼ - 2 阻害剤の新たな作用機序解明 (2000-, 代表). 文部省・奨励研究 (A), 原 明: アポトーシス抑制物質投与による海馬遅発性神経細胞死の制御 (1997-1998, 代表). 文部省・奨励研究 (A), 原 明: セリンプロテアーゼ阻害剤による海馬神経細胞死保護効果の検討 (1998-1999, 代表)

厚生省・がん研究助成金, 森 秀樹: ヘテロサイクリックアミンによる前立腺, 膵, 大腸, 乳腺発がん分子機構に関する研究; ヘテロサイクリックアミンによる乳腺及び大腸発癌の抑制物質の検索 (1998, 分担). 厚生省・がん研究助成金, 森 秀樹: 発がん過程におけるアポトーシスの役割とその治療への応用に関する研究; ラット大腸発がんにおけるアポトーシスの役割 (1999-, 分担). 厚生省・がん研究助成金, 吉見直己: がんの化学予防効果の検索モデルの検討: 大腸がんについて (2000-, 分担). その他・全日本コーヒー協会研究助成, 森 秀樹: クロロゲン酸の胃発癌抑制に対する検討 (1998). 中外製薬研究助成, 森 秀樹: グルクロラク톤の癌化学予防作用 (1998)

微生物学講座 文部省・基盤研究 C2 国際 (江崎孝行; 1998-1999)、基盤研究 B2 展開 (江崎孝行; 1998-1999) データベース (江崎孝行; 1998-2000) 基盤研究 B2 一般 (江崎孝行; 1998-1999)、基盤研究 B 1 一般 (江崎孝行; 2000-) 基盤研究 B2 展開 (江崎孝行; 2000-) 奨励研究 A (河村好章; 2000-). 厚生省科学研究費・サルモネラの診断・予防法の開発 (江崎孝行; 1999-2000) 炭疽菌の遺伝学的検出方法 (江崎孝行; 2000-)

ヒューマンライフサイエンス財団・健康保持増進のための健康管理 (江崎孝行; -1998)

ヤクルト研究財団・腸内細菌叢の遺伝子解析方法の開発 (江崎孝行; 1998-2000)

宇宙開発事業団・宇宙船内で選択的に生育する微生物相の系統解析と増殖因子の解析 (江崎孝行; 1998-2000)

新技術開発事業団 (NEDO)・全細菌の同定検出用マトリックスの開発 (江崎孝行; 1999)

そのほか民間企業との共同研究 (5件) 奨学寄付金等の研究支援を受けている

衛生学講座 文部省・基盤研究 (B), 井奈波良一 : 埋蔵文化財発掘作業の生体負担解明とその対策に関する研究 (1197-1999). 奨励研究 (A), 鷲野嘉映 : 小児の咬合力変化と身体組成変化の関連 (1998-1999)

公衆衛生学講座 文部省・特定領域研究 (A)(1), 清水弘之 : コホート研究による発がん要因の評価に関する研究 (1993 - 1999, 分担). 特定領域研究 (A)(1), 清水弘之 : HPV 感染と頸部発がんに関するコホート研究 (1998 - 1999, 分担). 特定領域 (C)(2), 清水弘之 : 乳がん予防を目指した生活環境要因と血清エストロゲンに関する研究 (2000 - ). 基盤研究 (B)(1), 清水弘之 : 閉経期女性の愁訴とイソフラボン摂取および生体内エストロゲン・イソフラボンの関連性 (1999 - ). 基盤研究 (C)(1), 川上憲人 : 職業性ストレスの理論的発展とその測定および実証に関する研究 (1999 - ). 基盤研究 (C)(2), 川上憲人 : 地域住民における不安障害の頻度, 危険因子および社会生活への影響に関する疫学的研究 (1998 - 1999). 基盤研究 (C)(2), 永田知里 : 栄養・生活習慣と血清エストロゲン値の関係を修飾するインスリン抵抗性の役割 (1998 - 1999). 基盤研究 (C)(2), 永田知里 : イソフラボンその他の栄養摂取が癌・心血管障害死亡および女性の閉経に及ぼす影響 (2000 - ). 特定領域研究 (A)(1), 永田知里 : HPV 感染と頸部発がんに関するコホート研究 (2000 - , 分担). 奨励研究 (A), 高塚直能 : 患者自己決定志向に及ぼす諸要因に関する研究 (1999 - )

厚生省・長寿科学総合研究事業, 清水弘之 : 都市部および農村部の高齢者のうつ病に関する研究 (1997 - 1999, 代表). 健康科学総合研究事業, 清水弘之 : がん検診受診者が抱く安心感と不安感の数量化に関する研究 (1998 - 1999, 代表). 特定疾患調査研究事業, 清水弘之 : 特発性造血障害研究 (1991 - 1998, 分担). がん研究助成金, 清水弘之 : がん一次予防のための生活習慣への効果的な介入に関する研究 (1997 - 1999, 分担). がん研究助成金, 清水弘之 : 乳がん, 大腸がんの家族内集積性に関する研究 (2000 - , 分担). 長寿科学総合研究事業, 川上憲人 : 高齢者の抑うつと栄養に関する疫学的研究 (1999 - , 分担). 厚生科学特別研究事業, 川上憲人 : 精神障害の疫学調査における基盤整備に関する研究 (1999 - , 分担). 医薬安全総合研究事業, 川上憲人 : 精神安定剤および睡眠薬の乱用・依存の実態と予防に関する研究 (1999 - , 代表). 健康科学総合研究事業, 川上憲人 : こころの健康調査の実施基盤整備に関する研究 (2000 - , 分担) がん研究助成金, 永田知里 : がん一次予防のための生活習慣への効果的な介入に関する研究 (2000 - , 分担)

その他・労働省, 川上憲人 : 作業関連疾患の予防に関する研究 (1995 - 1999)

法医学講座 文部省・基盤研究 (C)(2), 永井 淳 : STR におけるシーケンス変異の法医学的応用に関する研究 (1997-1998)

その他・かなえ医薬振興財団助成金, 永井 淳 : 治療法選択のための毛髪分析による患者背景因子解析手法の開発とその応用 (1999)

寄生虫学講座 文部省・基盤研究 (C) 高橋優三 : 宿主筋肉細胞の核に移行し細胞の脱分化・再分化を誘導する旋毛虫の分泌物質の研究 (1997 - 1998). 文部省・基盤研究 (C) 高橋優三 : 腸管寄生原虫であるブラストシスチスの分類・系統に関する分子生物学的研究 (1997 - 1998, 分担)

厚生省・厚生科学研究補助金 高橋優三 : クリプトスポリジウムの遺伝子指紋ライブラリーの作成 (1998)

その他・日本学術振興会 高橋優三：実験動物における胆管癌の発生に関する超微形態的研究（1996 - 2001，論博事業研究指導）。ぎふ生命科学研究推進協議会 高橋優三：感染源の同定を目的とした寄生虫遺伝子指紋ライブラリーの構築（1998 - 2001）。大山研究財団 高橋優三：感染源の同定を目的とする寄生虫の遺伝子マーカーの作成（1998 - 1999）

内科学第一講座 文部省・基盤研究(B) 展開，森脇久隆：合成レチノイドによる核レセプターを介した肝癌細胞クローン除去機構に関する研究（1998-，代表）。基盤研究(C)，森脇久隆：レチノイドによる核内転写因子を介した肝発癌制御の遺伝子機構に関する研究（1999-，代表）。基盤研究(C)，奥野正隆：TGF- $\beta$  活性化の制御を介した肝線維化抑制に関する研究（1997-，代表）。基盤研究(C)，奥野正隆：TGF- $\beta$  細胞内情報伝達系の制御を介した肝線維化抑制剤の開発（2000-，代表）。基盤研究(C)，永木正仁：バイオ人工肝臓の開発（1998-，代表）。基盤研究(C)，安藤量基：TNF- $\alpha$  ノックアウト CTL を用いた肝炎ウイルス排除機構の研究（2000-，代表）。基盤研究(C)，白鳥義宗：新しいユビキチン結合蛋白による核内受容体転写活性制御と細胞増殖・細胞死（2000-，代表）

厚生省・特定疾患調査研究補助金，森脇久隆：肝炎劇症化の機序ならびにバイオ人工肝開発に関する研究（1997-，分担）。がん研究助成金，森脇久隆：発がんプロモーター作用の抑制に関する研究（1998-，分担）。がん研究助成金，森脇久隆：肝炎ウイルス感染による肝細胞がん発生の抑制に関する研究（1998-，分担）。厚生省・厚生科学研究費補助金（振興・再興感染症研究事業），村上啓雄：薬剤耐性菌による感染症のサーベイランスシステムの構築に関する研究（検査部を中心としたサーベイグループ）（1997-，分担）

内科学第二講座 文部省・基盤研究(B)，藤原久義，野田俊之，野沢義則：ヒト心不全におけるアポトーシスの病態生理学的意義と分子機構の解析（1997-1998）。基盤研究(C)，鷹津久登，竹村元三，藤原久義：粥状動脈硬化におけるアポトーシスのメカニズムと病態生理学的意義 -LDL ノックアウトマウスを用いた検討-（1997-1998）。基盤研究(C)，竹村元三，野田俊之，藤原久義：心筋梗塞にみられる心筋細胞の DNA 断片化はアポトーシスを意味するのか？ -TUNEL 電顕による DNA fragmentation と超微形態の同時比較-（1997-1998）。基盤研究(C)，湊口信也，野田俊之，藤原久義：1,6 グルコシターゼのブロッカーによる梗塞縮小効果のメカニズムの解明 - 特に protein kinase C およびアポトーシスとの関連について -（1998-1999）。基盤研究(C)，野田俊之，竹村元三，藤原久義：RF 信号を用いた new 血管内超音波検査法の開発とプラーク組織性状の解析（1998-1999）。基盤研究(B)，藤原久義，植松俊彦，湊口信也：糖の吸収阻害性抗糖尿病薬の虚血心筋保護作用の発見とその実用化への試み -ischemic preconditioning から new pharmacological preconditioning への新たな展開-（1999-）。基盤研究(B)，藤原久義，岡野幸雄，竹村元三：アポトーシス促進因子 bax を用いた PTCA 後再狭窄に対する遺伝子治療の可能性-バルーン障害後の内膜平滑筋細胞増殖に伴う intimal hyperplasia の予防-（1999-）。基盤研究(C)，竹村元三，藤原久義：筋線維芽細胞のアポトーシスのブロックによる梗塞後心室リモデリングと心不全の予防（1999-）。基盤研究(C)，宇野嘉弘，湊口信也，藤原久義：Preconditioning のメカニズムにおけるクロストークの解明 - 各種情報伝達系と梗塞サイズ縮小効果との相互関係 -（1999-）。基盤研究(C)，西垣和彦，竹村元三，藤原久義：アポトーシス抑制因子血漿 sFas の投与は心不全の長期予後を改善する（1999-）。基盤研究(A)，荒井正純：- グルコシターゼ阻害剤の梗塞縮小効果のメカニズムの解明 -glycogenolysis 抑制の下流側に KAPT channel ではなく protein kinase C がある-（1999-）。奨励研究(A)，土屋邦彦：KAPT および Ca チャンネルは心筋細胞のアポトーシスに

重要な役割を演ずる (2000-) . 大学院重点特別経費 : 心・系細胞におけるアポトーシスの分子機構解明と遺伝子治療 (1999) . 厚生省特定疾患調査研究班班員 (1998-2000)

内科学第三講座 厚生省特定疾患調査研究補助金, 安田圭吾 : 副腎ホルモン産生異常症に関する研究 (1996 - 2000) . 長寿科学総合研究事業, 安田圭吾 : 老化防止のためのホルモン療法に関する研究 (1998) , 老人病に対する介入療法及び予防法に関する研究 (2000) . 文部省科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 山本眞由美 : 糖尿病状態における血管平滑筋細胞のアポトーシス制御機構に関する P K C の役割 (2000) . 岐阜県労働基準協会連合会 産業医学に関する調査研究助成金, 吉野功二 : 職業による生活活動強度と動脈硬化のリスク重積症候群 (1999) . 岐阜県労働基準協会連合会 産業医学に関する調査研究助成金, 佐々木昭彦 : 性腺および副腎男性ホルモンと動脈硬化 (2000)

外科学第一講座 文部省・展開 (B) , 久保清景 : 冠動脈バイパス術後の慢性期グラフト内膜肥厚の遺伝子治療に関する研究 . 一般 (C) , 千賀省始 : 肝移植における保存肝の誘電特性による肝移植の viability の予測に関する研究 . 一般 (C) , 村川真司 : 肺血栓塞栓症に対する術中超音波血栓溶解補助療法 . 奨励 (A) 佐々木栄作 : 骨格筋により駆動される体内埋め込み型遠心ポンプの開発 . 一般 (C) , 広瀬一 : NOS 遺伝子導入自家動脈内皮細胞藩種によるハイブリット型人工血管移植に関する研究 . 一般 (C) , 鬼束惇義 : 中心静脈栄養時における腸管粘液の腸管透過性抑制作用に関する実験的臨床的研究 . 奨励 (A) , 熊田佳孝 : フォンタン型手術に対するバルブレス骨格筋導管ポンプの開発に関する研究 . 展開 (B) , 広瀬一 : 遺伝子導入自家血管内皮前駆細胞によるハイブリット型人工血管移植に関する研究 . 一般 (B) , 森 義雄 : 遺伝子銃を用いた CTLA4-Ig 遺伝子導入心移植の免疫寛容誘導に関する研究 . 奨励 (A) , 岩田 尚 : 臓器移植における免疫抑制剤投与の新しい制御基準の開発 . 一般 (C) , 高木寿人 : 変異 PDE 遺伝子、血管新生因子遺伝子を用いた拡張型心筋症に対する複合型遺伝子治療 . 奨励 (A) , 安村幹央 : 虚血腸管の viability 判定システムの開発に関する研究 . 一般 (C) , 仁田豊生 : 炎症性腸疾患における粘膜固有層内リンパ球の細胞障害活性の検討  
厚生省循環器病研究委託費・森 義雄 : 心・脳血管にわたる多発性閉塞性血管病変の治療法に関する研究 . 広瀬一 : 組織電気特性を用いた脊髄・腹部重要臓器における阻血障害の検討 . 広瀬一 : 胸腹部大動脈瘤手術における脊髄・臓器保護に関する研究

外科学第二講座 文部省・基盤研究 (C) 加藤元久 : ヒト免疫機構構築 SCID マウスを用いた hIL-12 のキラー活性増強法に関する研究 (1996-1998) . 基盤研究 (C) 国枝克行 : 超音波破碎と薬物学的 CEA 抗原遊出法を併用した播種性転移診断増強法の開発 (1997-1999) . 基盤研究 (C) 梅本敬夫 : 敗血症や癌悪液質で誘導される炎症性サイトカインに対する好中球枯渇化療法検討 (1997-1999) . 基盤研究 (C) 鷹尾博司 : W/O/W 型徐放化 BRM 製剤の開発と抗腫瘍免疫能増強効果について (1997-2000) . 萌芽的研究 佐治重豊 : mdm2 癌遺伝子と estrogen related apoptosis (1998-2000) . 奨励研究 (A) 高木幸浩 : 胃・大腸癌における SMAD 遺伝子の異常、及び多変量解析による臨床病理学的因子との検討 (1998-1999) . 萌芽的研究 杉山保幸 : 担癌生体末梢血中の樹状細胞の抗原提示機能の評価方法の開発 (1999-2000)

産科婦人科学講座 文部省・基盤研究 (B)(2) , 玉舎輝彦 : 性ステロイドと関連して女性生殖器ならびにその腫瘍の細胞増殖とその制御に関する研究 (1997-2000) . 萌芽的研究, 玉舎輝彦 : 植物エストロゲンの子宮内膜癌発生・発育の予防 (1998-2000) . 基盤研究 (B)(2) , 今井篤志 : 子宮内膜癌におけるプロ GnRH および GnRH 分泌の分子機構と機能 (2000-2003) . 基盤研究 (C)(2) , 藤本次良 : 女性生殖器に

おける血管新生とその抑制に関する研究 (1999-2001) . 基盤研究 (C)(2) , 丹羽憲司 : 子宮内膜癌に対するイソフラボンの抑制作用の検討 (2000-2001) . 奨励研究 (A) , 操 良 : エストロゲン依存性婦人科疾患における性ステロイド結合蛋白の生物学的意義 (1999-2000) . 奨励研究 (A) , 古井辰郎 : 卵巣癌におけるリソフォスファチジン酸の診断的意義と治療標的への応用に関する研究 (2000-2001)

厚生省・厚生科 研生活安全総合研究事業石川斑, 玉舎輝彦 : ダイオキシン類の汚染状況および子宮内膜症等健康に関する研究 (1999-, 分担) . 厚生科 研がん克服戦略研究事業杉下班, 藤本次良 : 発癌・進展とがん免疫機構の解析に基づいた新しい分子診断法の開発と臨床応用に関する研究 (1998-1999, 分担) . 厚生科 研がん克服戦略研究事業坂本班 藤本次良 : 婦人科がんの発生・進展の分子機構解析に基づいた新しい分子診断・治療法の開発 (2000-, 分担)

その他・日母おぎゃー献金補助金, 玉舎輝彦 : 子宮内胎児発育遅延の原因解明のための胎盤、血管内皮細胞機能における性ステロイド (受容体) およびレプチンの遺伝子の発現に関する基礎的研究 (2000-2002) . 日本漢方医学研究所研究助成, 三鴨廣繁 : 細菌性陰症に対する竜胆瀉肝湯、十全大補湯、牛車腎気丸の治療効果 (1998) . 日本漢方医学研究所研究助成, 三鴨廣繁 : 十全大補湯および十全大補湯を構成する生薬の好中球機能に対する影響についての検討 (1999) . 赤枝医学研究財団助成, 三鴨廣繁 : 女性生殖器感染症と不定愁訴に関する研究 (2000)

整形外科学講座 文部省科学研究費基盤研究 (B)(2) , 清水克時 : 自己血を用いた椎間板ヘルニアの治療 (1998-1999) . 文部省科学研究費奨励研究 (A) , 大野貴敏 : 小児悪性骨軟部腫瘍に対する遺伝子治療の基礎的研究 (1998) . 文部省科学研究費基盤研究 (C)(2) , 系数万正 : パーチャルリアリティによる関節外科手術支援システム (1999-2000) . 文部省科学研究費基盤研究 (C)(2) , 清水克時 : 滑膜線維芽細胞のアポトーシスにおける calpain の発現 (2000-2001)

脳神経外科学講座 文部省・基盤研究 (B)(2) , 坂井 昇 : 低酸素による神経細胞死におけるセラミドを中心としたアポトーシスシグナルの解明 (1999-2000) . 文部省・基盤研究 (C)(2) , 坂井 昇 : 悪性神経膠腫におけるテロメラーゼに関する研究 (1997-1999) . 文部省・基盤研究 (C)(2) , 郭 泰彦 : クモ膜下出血における神経性脳血管調節因子の修復に関する検討 (1998-1999) . 文部省・基盤研究 (C)(2) , 竹中勝信 : 動脈瘤増大メカニズムの検討 - 血管壁の三次元構築の re-modeling について - (1998-1999) . 文部省・基盤研究 (C)(2) , 岩間 亨 : ヒトグリオーマ細胞における Bax/Bcl-2 発現比の意義 (1999-2000) . 文部省・萌芽的研究, 野田伸司 : 脳虚血時における細胞死シグナル伝達機構の調節に関する検討 - シグナル調節蛋白 (14-3-3 蛋白質) の役割 - (1999-2000) . 文部省・萌芽的研究, 西村康明 : 実験的視床破壊後の神経回路代償機構に関する検討 (1999-2000) . 文部省・基盤研究 (C)(2) , 坂井 昇 : 主要血管の接着因子から検討した脳腫瘍の悪性化 (2000-2002) . 平成 10 年度下半期金原一郎記念医学医療振興財団第 13 回研究交流助成金, 竹中勝信 (1998) . 文部省国際研究集会派遣研究員, 竹中 勝信 (1999) . 日本学術振興会特別研究員, 吉村紳一 (1999) . 文部省高度先進医療開発経費, 坂井 昇 : 脳血管拡張術における再狭窄予防法とその有効性及び安全性の指標の開発 (1999-2001) . 岐阜大学研究医療費 (高度先進) 「脳卒中患者における発病、再発関連遺伝子の検索とその診断法の開発」. 平成 12 年度循環器病研究委託費, 坂井 昇 : 特殊な脳血管障害 (脳動脈瘤、脳動静脈奇形、モヤモヤ病等) の遺伝子解析に関する研究 (2000)

眼科学講座 厚生省・厚生科学研究費補助金, 北澤克明 : 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業, 緑内障 (1998-1999)



文部省・一般研究(B),北澤克明:緑内障性視神経障害の発生と乳頭血流障害・微小血管障害の関連の解明(1996-1998).一般研究(B),北澤克明:緑内障性視神経障害に対する非眼圧下降治療薬の開発ならびに本障害の成因探求(1999-).一般研究(C),山本哲也:緑内障性視神経症に対する治療法の確立(1998-2000).一般研究(C),谷口徹:血管作動性の生理活性物質と眼圧との関連(2000-).奨励研究(A),谷口徹:眼圧コントロールにおけるサイクリック GMP の役割に関する研究(1997-1998).奨励研究(A),内田英哉:緑内障における乳頭周囲網脈絡膜萎縮巣の意義(1998-1999).奨励研究(A),内田英哉:日本人の正常眼における視神経乳頭形態の検討(2000-).奨励研究(A),川瀬和秀:緑内障の家系における遺伝子の解析(1997-1998).奨励研究(A),川瀬和秀:緑内障原因遺伝子異常と臨床像の検討(2000-)

その他・テルモ科学技術振興財団研究助成金,川瀬和秀:培養神経細胞と半導体デバイスを組み合わせた体内埋込型視覚代替臓器「人工網膜」(1998-)

耳鼻咽喉科学講座 文部省・基盤研究(C)(2),水田啓介,加藤雅也:両側迷路破壊幼若動物を用いた微小重力環境における平衡適応機構の解明(1998-1999).奨励研究(A),青木光広:ヒトの心血管・呼吸系制御に関わる耳右受容体と前庭空間認知感覚中枢の役割(1999-2000).基盤研究(C)(2),水田啓介,青木光広,伊藤八次:視覚の運動認知と空間認知の統合過程の検討-視運動刺激を用いた functional MRI による大脳活動の計測-(2000-2001).岐阜大学医学部振興基金,青木光広,安藤健一,伊藤八次,菅野富夫:メニエール病におけるクロモグラニン(CgA)(2000)

その他,[財]金原一郎記念医学医療振興財団,第14回研究交流助成金,久世文也:第21回バラニー学会議

皮膚科学講座 文部省 基盤研究(B)(2),北島康雄:表皮細胞接着分子・細胞骨格構築制御シグナル伝達と自己免疫性水疱症の分子医学的解析(1998-2000).基盤研究(C)(2),高木 肇:悪性黒色腫におけるアポトーシス誘導と細胞骨格・接着因子の変化の分子医学的解析(2000-).奨励研究(A),市橋直樹:各種の皮膚腫瘍における癌・癌抑制遺伝子の発現と変異のパラフィン切片を用いた検討(1997-1998).奨励研究(A),青山裕美:尋常性天疱瘡抗体による表皮細胞接着障害におけるシグナル伝達機構の解析(1997-1998).奨励研究(A),江崎智香子:水疱症をモデルとした細胞骨格・細胞接着制御におけるプロテインキナーゼ C の役割(1997-1998).奨励研究(A),野尻麻里:表皮細胞シグナル伝達と類天疱瘡抗原 II のリン酸化と病因抗体結合による水疱形成(1999-2000).奨励研究(A),市橋直樹:悪性黒色腫の薬剤耐性遺伝子の発現と予後、再発に関する研究(2000-)

厚生省 特定疾患皮膚結合組織疾患調査研究班稀少難治性皮膚疾患分科会,北島康雄(1998-2000).がん研究助成金斎田班,北島康雄(1997-1998).がん研究助成金山本班,北島康雄(1999-2000)

その他 日本皮膚科学会基礎医学研究費,青山裕美(1999).高度先進医療費開発補助金,神谷秀喜:ケロイド及び肥厚性癬痕に対する DYE LASER の臨床的效果に対する検討(1999).高度先進医療費開発補助金,青山裕美:ELISA 法による天疱瘡患者血清中の抗デスモグレイン 1 及び 3 抗体価と治療法選択と治療効果の判定に関する研究(1999)

泌尿器科学講座 基盤研究(C)(2),出口隆:尿路性器感染症由来ニューキノロン剤耐性菌における耐性機構の分子生物学的解析(1998-2000).基盤研究(C)(2),山本直樹:臨床ヒト膀胱腫瘍に対する BCG 膀胱内注入療法の抗癌作用機序の免疫学的解析(1999-2000).基盤研究(C)(2),江原英俊:尿路性器癌の抗癌剤耐性遺伝子発現に関する DNA チップを用いた解析法の開発(2000-2001)

小児科学講座 文部省・特定研究 (B) (2) ,近藤直実 : DNA の切断と再結合における helicase 遺伝子 family の機能解析 (1998-2000) . 特定研究 (A) (2) ,加藤善一郎 : インターロイキン 18 レセプター複合体解析と新たな治療法の解析 (2000-2001) . 基盤研究 (B) (2) 一般,近藤直実 : 原発性免疫不全症候群の病因遺伝子とその機能の構造生物学的解析 (1997-1999) . 近藤直実 : ミトコンドリア 酸化異常症の生化学的評価・診断および病因解析に関する研究 (1998-2000) . 基盤研究 (B) (2) 展開研究,近藤直実 : アレルギーの病因遺伝子群の分子遺伝学的, 構造生物学的解明と治療・予防への応用 (1998-2000) . 基盤研究 (C) (2) ,鈴木康之 : 副腎白質ジストロフィーの病態と発症予防・遺伝子治療に関する研究 (1998-1999) ,鈴木康之 : 先天性ジカルボン酸代謝異常症と ABC 蛋白質に関する研究 (2000-2001) . 下澤伸行 : ペルオキシソーム欠損症の発症と温度感受性との関連についての研究 (1998-1999) . 高橋幸利 : グルタミン酸受容体自己抗体による中枢神経系障害の早期診断・治療 , (1998-2000) . 金子英雄 : 遺伝性高発癌症候群の分子病態の解析および遺伝子治療の基礎的研究 (1998-1999) . 金子英雄 : 遺伝性高発癌症候群の分子病態の解析および遺伝子治療の基礎的研究 (2000-2001) . 祐川和子 : 遺伝性ムコ多糖症の分子病態解析と新たな治療法開発への展開 - Sulfatase Family の構造と機能解析を中心として - (1998-1999) . 祐川和子 : 遺伝性ムコ多糖代謝異常症の分子病態解析と酵素補充療法開発に関する研究 (2000-2001) . 深尾敏幸 : 先天性ケトン体代謝異常症の分子病態 - サクシニル-CoA: 3 ケト酸 CoA トランスフェラーゼ欠損症を中心として - (1999-2000) . 伊上良輔 : アレルギーにおける T 細胞受容体と抗原提示分子の構造と結合に関する研究 (2000-2001) . 基盤研究 (C) (1) ,近藤直実 : イヌおよびヒトのアトピー性皮膚炎の比較免疫学的研究 (1998-1999) . 祐川和子 : 遺伝性ムコ多糖症 IVA 型 (モルキオ病) の病態解析と治療への展開 - N-acetylgalactosamine-6-sulfate sulfatase (GALNS) 欠損マウスによる GALNS 機能部位の解明と新たな治療法への展開 - (1997-1999) . 祐川和子 : ムコ多糖症 II 型 (ハンター病) の重症度の判定と保因者診断による一次予防に関する研究 (2000-2001) . 萌芽的研究,近藤直実 : 川崎病の病因の遺伝子学的な独創的手法による解明とその展開 (1997-1998) . 近藤直実 : 川崎病の病因の未知抗体をコードする遺伝子探索にもとづく独創的手法による解明と展開 (1999-2000) . 奨励研究 (A) , 深尾敏幸 : 先天性ケトン体代謝, 脂肪酸 酸化系異常症の分子病態解析 (1997-1998) . 伊上良輔 :  $\alpha$ -lactoglobulin 抗原に対するミルクアレルギー患者 T 細胞応答の解析 (1997-1998) . 加藤善一郎 : 免疫アレルギー疾患病因タンパク質の NMR 法による立体構造解析と新たな治療法の開発 (1999-2000)

厚生省・厚生科学研究費補助金,近藤直実 : 厚生省特定疾患 原発性免疫不全症候群調査研究班 (1998- 分担) 代表 : 小宮山淳 . 近藤直実 : 母乳中のダイオキシン類に関する研究事業 (1998- 分担) 代表 : 多田 裕 . 近藤直実 : 特別研究事業 小児の地域保健医療および政策医療の計画, 推進に関する研究 (1998 分担) 代表 : 小崎 武 . 近藤直実 : 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業「アトピーの病因遺伝子の同定とその機能解析に関する研究」(1999- 分担) 代表 : 柳原行義 . 近藤直実 : 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業「食物アレルギーの実態及び誘発物質の解明に関する研究」(2000- 分担) 代表 : 海老澤元宏 . 近藤直実 : 感覚器障害及び免疫・アレルギー等研究事業「アレルギー疾患の増加に関わる胎児・胎外因子の同定に関する研究」(2000- 分担) 代表 : 森川昭廣 . 鈴木康之 : 特定疾患対策研究「副腎白質ジストロフィーの治療法開発のための臨床的及び基礎的研究」(1999- 分担) 代表 : 辻 省次 . 折居忠夫 : 効果的な健康及び検査 (マススクリーニング) 事業の実施に関する研究 (1998-2000 研究協力者) 代表 : 青木継稔 . 精神・神経疾患委託研究,鈴木康之 : 遺伝性代謝病の中枢神経発現機序の解明と治療法の開発研究 (1996-1998 分担) 代表 : 桜川宣男 . 鈴木康之 : 高次脳機能を担う神経回路網の発達及びその障害の成因・予防に関する研究 (1999- 分担) . 代表 : 加我牧子 . 高橋幸利 : 新技術を用いた難治てんかんの診断法と治療法 (1999- 分担) 代表 : 大沼悌一 . 創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業, 近藤直実 : 病原性大腸菌 O157 患者の臨床医学的解析 (1998-1999 分担)

代表：多田多恵．小児医療委託研究，近藤直実：アレルギー疾患の発症に關与する遺伝子多型の検索および機能的評価(2000- 分担) 代表：赤澤 晃．予防接種班，近藤直実：予防接種の效果的実施と副反応に關する総合的研究(1996- 分担) 代表：平山宗宏

環境庁・近藤直実：環境庁公害健康被害補償予防協会委託研究「気管支喘息の発症に關する免疫遺伝因子の解明と検査手法の開発に關する研究(1996- 分担) 代表：真弓光文

その他・近藤直実：岐阜市受託研究費「岐阜市の小児医療の向上に關する研究」(1997-1998)．

産学共同研究・近藤直実：小児気管支喘息患児と親又は保護者の QOL 調査票改訂版の開発(1998-1999) 三菱化学(株)医療カンパニー．近藤直実，鈴木康之，祐川和子：ムコ多糖症 Morquio 症候群動物モデルの開発(1999) ジェンザイム．高橋幸利：光感受性発作と表示ディスプレイに關する臨床脳波学的研究(1998-1999) NHK

日本學術振興会共同研究・日豪科学協力事業・近藤直実，深尾敏幸，Martin F Lavin：毛細血管拡張性失調症および BLOOM 症候群の原因蛋白の機能，相互作用の解明(2000-2002)

文部省學術国際局・日英科学技術協力等プロジェクト・近藤直実：アトピーの病因遺伝子解明(2000)．財団等助成金・近藤直実：財団法人臨床薬理研究振興財団研究奨励「喘息親子の QOL とそれによる薬剤の総合的評価に關する研究」(1998)．近藤直実：アストラ研究奨励助成金(日本アレルギー学会)「喘息の発症機構の解明 - 特に喘息をはじめとするアレルギーの病因遺伝子群の分子遺伝学的，構造生物学的解明」(1998)．近藤直実：財団法人森永奉仕会西暦 2000 年記念特別企画・最優秀研究賞「食物アレルギーをはじめとするアトピーの病因遺伝子群の遺伝子学的・構造生物学的解明と臨床応用」(2000)．下澤伸行：母子健康協会平成 11 年度小児医学研究助成金「先天性代謝異常症における温度と発症機序の關連に關する研究 ペルオキシソーム欠損症の温度感受性について」(1999)．下澤伸行：金原一郎記念医学医療振興財団第 14 回基礎医学医療研究助成金「先天性代謝異常症における温度と発症機序の關連に關する研究 ペルオキシソーム欠損症の温度感受性について」(1999)．下澤伸行：財団法人東海學術奨励会研究助成金「遺伝性疾患における体温上昇と発症機構の關連に關する研究」(1999)．金子英雄：財団法人森永奉仕会研究奨励金「DNA の複製・修復の異常により乳幼児期より高癌化を呈する遺伝性症候群の病態・治療法に關する研究」(1999)．金子英雄：日本アレルギー協会国際交流助成金 Bloom 症候群病因遺伝子(BLM)の機能解析および相互作用するタンパクの同定」(1999)．深尾敏幸：平成 11 年度小野医学研究奨励助成金「先天性脂肪酸 酸化異常症，ケトン体代謝異常症の病態解析」(1999)．深尾敏幸：平成 11 年度上原記念生命科学財団海外留学リサーチフェローシップ「単球，マクロファージ系細胞での ATM 蛋白の機能解析」(1999)．加藤善一郎：加藤記念バイオサイエンス研究振興財団第 12 回加藤記念海外派遣助成(2000)

麻醉・蘇生学講座 文部省・基盤研究 -A，土肥：麻醉・疼痛シグナル伝達機構と脊髄でのイオン・トランスポーターの役割．文部省・基盤研究 -B，土肥：ポリマー化オピオイドによる脊髄鎮痛法の開発．文部省・基盤研究 -B，赤松：新しい肺動脈カテーテルを用いた血管内超音波法による連続心拍出量測定法の開発．文部省・基盤研究 -C，飯田： $\alpha_2$  アドレナリン作動薬、NMDA 拮抗薬の低体温時における脳血管反応のウインド - 法を用いた検討．文部省・基盤研究 -C，大島：麻醉中の呼吸シグナル行動の神経性調節機構の解明．文部省・萌芽，土肥：脊髄に於ける疼痛過敏機構と ion cotransporters の役割

臨床検査医学講座 文部省・基盤研究 (C)，清島 満：CaCO<sub>2</sub> cell におけるアポ A-IV の合成・分泌について(1997 - 1999)．基盤研究 (C)，清島 満：食品由来の脂質代謝改善因子の新規スクリーニング及びその機能評価(1998 - 1999，分担)．基盤研究 (C)，清島 満：新規評価法を活用したポリフェ

ノールの抗動脈硬化作用機構解析 (2000 - 2001, 分担). 基盤研究 (B), 清島 満 : 血清中脂質フリーアポ蛋白濃度の測定法確立と臨床的応用 (1999 - 2001). 基盤研究 (C), 和田久泰 : ウイルス心筋炎の発症と進展におけるサイトカインの役割 (1998 - 1999). 基盤研究 (C), 藤井秀比古 : ダブルノックアウトマウスを用いた動脈硬化におけるサイトカインの役割に関する研究 (1999 - 2000). 奨励研究 (A), 斉藤邦明 : TNF- $\alpha$  ノックアウトマウスを用いたエイズ痴呆コンプレックス発症機構に関する研究 (1998 - 1999). 厚生省・科学研究費, 斉藤邦明 : HIV 等のレトロウイルスによる痴呆や神経障害の病態と治療に関する研究 (2000 - 2002, 分担)

口腔外科学講座 文部省・基盤研究 (C) 研究代表者: 立松憲親, 研究分担者: 安田聡 (1998-2000). 文部省・基盤研究 (C)(2) 研究代表者: 立松憲親, 研究分担者: 加藤幸弘 (2000-2001). 文部省・基盤研究 (C)(2) 研究代表者: 川島光夫 研究分担者: 安岡 忠, 田中克英 (1997-1999). 文部省・基盤研究 (C)(2) 研究代表者: 安岡 忠 研究分担者: 川島光夫 (1998-2000)

反射研究施設 文部省・基盤研究 (C), 松波謙一 : リスザル海馬・前庭核ユニット記録による宇宙適応症候群中枢機序の解明 (1999-2001, 代表). 文部省・特別研究員奨励費, 松波謙一 : 宇宙適応症候群解明を目的とした海馬スライス標本・光膜電位測定法による薬理学的研究 (1998-2000, 代表)

嫌気性菌実験施設 文部省・基盤研究 (C) 研究, クロストリジウム の病原性に関する第3回国際会議 (Clost Path2000), 渡邊邦友 (研究協力者): (1999). 厚生省・新興再興感染症研究事業 細菌の薬剤耐性機構の分子解析と耐性機構別迅速検出法に関する研究班, 渡邊邦友 (研究分担者), 加藤直樹 (研究協力者): (1998). 薬剤耐性菌による感染症のサーベイランスシステムの構築に関する研究班, 渡邊邦友 (研究協力者), 村上啓雄 (研究協力者): (1998). 新興再興感染症研究事業 細菌の薬剤耐性機構の分子解析と耐性機構別迅速検出法に関する研究班, 渡邊邦友 (研究分担者), 加藤直樹 (研究協力者), 山添喜久雄 (研究協力者): (1999). 薬剤耐性菌による感染症のサーベイランスシステムの構築に関する研究班, 渡邊邦友 (研究協力者), 村上啓雄 (研究協力者): (1999). 特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究 サ症患者におけるプロピオニバクテリアの細菌学的検討, 渡邊邦友 (分担研究者), 田中香お里 (研究協力者): (1999). 特定疾患の微生物学的原因究明に関する研究 サ症患者におけるプロピオニバクテリアの細菌学的検討, 渡邊邦友 (分担研究者), 田中香お里 (研究協力者): (2000). 新興再興感染症研究事業 新型の薬剤耐性菌のレファレンス並びに耐性機構の解析, および迅速・簡便検出法に関する研究, 渡邊邦友 (分担研究者), 田中香お里 / 加藤直樹 (研究協力者): (2000). その他の助成金: 東海乳酸菌研究会研究補助金, 渡邊邦友 (主任研究者): (1998, 2000)

動物実験施設 文部省・基盤 (C) (2), 厚生省・がん研究助成金 ヘテロサイクリックアミンによる前立腺, 膵, 大腸, 乳腺発がん分子機構に関する研究; ヘテロサイクリックアミンによる乳腺及び大腸発癌の抑制物質の検索 (1999-, 分担)

薬剤部 厚生省・厚生科学研究・片桐義博 : 再評価制度に基づく医薬品の品質確保に関する研究 (1996 - , 分担). 文部省・奨励研究 (B)・杉山 正 : 内服剤、外用剤、注射剤の処方に対応した総合的な処方監査支援システムの開発 (1999). 文部省・奨励研究 (B)・松浦克彦 : 徐放性製剤の溶出性に及ぼす保存温度の影響 (1999). 文部省・奨励研究 (B)・松浦克彦 : 徐放性製剤の溶出性に及ぼす保存温度の影響 2 (2000)

東洋医学講座(ツムラ)日本漢方医学研究所研究助成金,福田一典:漢方薬の血清薬理学的研究におけるリポーター遺伝子アッセイ法の応用(1998-1999)

厚生省・厚生科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業),赤尾清剛:慢性関節リウマチに対する鍼灸治療の多施設ランダム化比較試験(2000~2002,分担)

イスクラ厚生事業団・漢方研究助成金,赤尾清剛(2000)

総合診療部 文部省科学研究費補助金,基盤研究(C)石塚達夫:糖尿病における血小板凝集能亢進と糖尿病性合併症進展との関連 - 分子生物学的検討 - (1997-2000).文部省科学研究費補助金,基盤研究(C)(2)宇野嘉弘:preconditioning のメカニズムにおけるクロストークの解明 - 各種情報伝達系と梗塞サイズ縮小効果との相互関係 - (1999 - 2000)

民間機関等との共同研究,石塚達夫,森田浩之:過疎地域における生活習慣病の在宅モニタリング(1999 - 2000)糖尿病性神経症に対する NZ-314 の臨床的效果(2000).チアゾリジン誘導体 BRL49653C の血小板凝集能への効果(1999)

高齢医学講座 文部省・奨励研究(A),松山善次郎:電位依存性カルシウムチャンネル 1A サブユニットの異常により引き起こされる神経疾患の病態メカニズムの解明

精神神経疾患研究基金研究助成金,犬塚 貴:脳白質病変を主とする痴呆の病因に基づく診断方法の確立に関する研究.上原記念生命科学財団研究助成金,犬塚 貴:白質病変を主とする痴呆の病因に基づく診断方法の確立に関する研究.住友海上福祉財団研究助成金,犬塚 貴:高齢期脳白質性痴呆の病因に基づく診断方法の確立に関する研究.有任基金医学助成金,犬塚 貴:白質性痴呆の病因に基づく診断法の確立.岐阜大学医学部学術振興基金,保住 功:脳傷害後のアポトーシス機構と神経栄養因子を用いた組織修復に関する研究.ブレインサイエンス振興財団研究助成,松山善次郎:Caチャンネル異常による神経疾患の病態解明.平成11年度,岐阜大学医学部附属病院高度先進医療開発助成,松山善次郎:non-RIによるPCR法を用いた遺伝性神経疾患の複数変異の同時診断.第11回加藤記念バイオサイエンス研究振興財団海外派遣助成,松山善次郎.第14回金原一郎記念医学医療振興財団研究交流助成,松山善次郎

医療情報部 文部省・科学研究費補助金・基盤研究B(2),紀ノ定保臣:超高速磁気共鳴スペクトル法によるリアルタイム脳内アミノ酸拡散画像の開発と応用(1998,分担).厚生省・厚生科学研究費,紀ノ定保臣:医用画像管理・診断ネットワークシステムの総合的推進による医療の質および経済効果に関する研究(1999,分担)

文部省科学研究費補助金採択状況

(単位 千円)

年度	医 学 部			附 属 病 院			計		
	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額	申請件数	採択件数	採択金額
5年度	113	34	143,600	57	20	22,500	170	54	166,100
6年度	117	43	156,900	63	24	22,500	180	67	179,400
7年度	125	44	167,100	72	33	32,900	197	77	200,000
8年度	152	41	71,800	73	31	30,700	225	72	102,500
9年度	145	52	104,600	92	29	40,500	237	81	145,100
10年度	165	72	145,400	78	25	26,900	243	97	172,300
11年度	165	64	150,800	88	27	42,800	253	91	193,600

受託研究・共同研究受入れ状況

受託研究

(単位 円)

共同研究

(単位 円)

年 度	受入件数	歳入額	年 度	受入件数	歳入額
5年度	6	11,350,000	5年度	0	0
6年度	9	9,905,000	6年度	0	0
7年度	14	22,536,000	7年度	2	5,038,000
8年度	22	43,489,000	8年度	3	8,324,000
9年度	36	76,701,000	9年度	4	8,260,000
10年度	29	65,743,093	10年度	2	4,870,000
11年度	25	108,730,400	11年度	7	49,790,800

奨学寄附金受入れ状況

年 度	医 学 部		附 属 病 院		計	
	受入れ件数	歳入額	受入れ件数	歳入額	受入れ件数	歳入額
5年度	363	257,023	150	111,009	513	368,032
6年度	295	289,329	140	111,885	435	401,214
7年度	313	269,872	120	80,395	433	350,267
8年度	327	511,249	135	83,928	462	595,177
9年度	307	257,221	154	84,760	461	341,981
10年度	274	216,653	192	99,631	466	316,285
11年度	326	290,118	175	83,988	501	374,106

医薬品等受託研究費受入れ状況

(単位 円)

年 度	受入れ件数	歳入額
3 年度	185	30,720,412
4 年度	192	35,079,501
5 年度	177	32,001,480
6 年度	169	29,554,101
7 年度	170	29,625,471

年 度	受入れ件数	歳入額
8 年度	180	32,730,836
9 年度	163	177,796,016
10 年度	130	107,034,617
11 年度	112	87,614,893

### 3 学会等における活動状況 (1998 年 7 月 - 2000 年 6 月)

(1) 学会等の役員, 委員等

(解剖学第一講座)

教授 正村静子 : 日本解剖学会評議員 (継続中), 日本解剖学会解剖体委員会委員 (継続中), 日本電子顕微鏡学会関西支部評議員 (継続中), 日本臨床電子顕微鏡学会評議員 (継続中)

(解剖学第二講座)

伊藤和夫 : 日本解剖学会 (評議員), 日本神経科学会 (専門会員)

藤田雅文 : 日本解剖学会, 日本神経科学会 (専門会員)

小野塚 實 : 日本神経科学会 (専門会員), 日本生理学会 (評議員)

中村浩幸 : 日本解剖学会, 日本神経科学会 (専門会員)

(生理学第一講座)

教授 森田啓之 : 日本生理学会 (評議員, 1986 - ), 日本自律神経学会 (評議員, 1986 - ), 日本臨床生理学会 (評議員, 1986 - ), 日本病態生理学会 (幹事, 2000 - )

助教授 李 憲 : 日本生理学会 (評議員, 1998 - ), 日本薬理学会 (評議員, 1993 - ), International Society for Neurochemistry (active member, 1995-), European Society for Neurochemistry (active member, 1996-), New York Academy of the Sciences (active member, 1993-)

講師 渡邊和子 : 日本生理学会 (評議員, 1988 - ), 日本神経科学会 (専門会員, 1989 - )

(生理学第二講座)

教授 惠良聖一 : 日本生理学会 (評議員, 継続中), 日本磁気共鳴医学会 (評議員, 継続中), 日本病態生理学会 (評議員, 1994 - )

助教授 桑田一夫 : 日本生理学会 (評議員, 継続中), 日本磁気共鳴医学会 (評議員, 1996 - )  
日本生物物理学会 (分野別専門委員 (MRI))

助手 中村浩二 : 日本生理学会 (評議員, 1998 - )

助手 林 知也 : 日本生理学会 (評議員, 1998 - )

( 生化学講座 )

野澤義則 : 日本医真菌学会理事長 ( 1994 - ), 日本原生動物学会会長 ( 1994 - ), 日本膜学会副会長 ( 1994 - ), 日本生化学会評議員 ( 1978 - ), 日本細胞生物学会評議員 ( 1992 - ), 日本脂質生化学研究会幹事 ( 1980 - ), 日本心脈管作動物質学会評議員 ( 1993 - ), 日本先天性代謝病学会評議員 ( 1990 - ), 国際原生動物学会理事 ( 1992 - )

中島 茂 : 日本血栓止血学会評議員 ( 1994 - ), 日本アレルギー学会評議員 ( 1994 - ), 日本医真菌学会幹事 ( 1995 - 1998 )

坂野喜子 : 日本医真菌学会幹事 ( 1999 - )

( 分子病態学講座 )

教授 岡野幸雄 : 日本生化学会 ( 評議員 , 1993 - )

( 薬理学講座 )

教授 植松俊彦 : 日本臨床薬理学会理事 ( 継続中 ), 評議員 ( 継続中 ), 編集委員長 ( 継続中 ), 国際交流委員長 ( 継続中 ), 認定医制度委員 ( 継続中 ), 日本薬理学会評議員 ( 継続中 )

助教授 小澤 修 : 日本内分泌学会評議員 ( 継続中 )

講師 丹羽雅之 : 日本薬理学会評議員 ( 継続中 ), 日本炎症・再生学会評議員 ( 継続中 )

( 病理学第一講座 )

教授 森 秀樹 : 日本癌学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本病理学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本毒性病理学会 ( 監事及び試験委員 , 継続中 ), 日本トキシコロジー学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本環境変異原学会 ( 評議員 , 継続中 ), Jpn. Soc. Food Factors ( 評議員 , 継続中 ), 日本がん予防研究会 ( 世話人 , 継続中 )

助教授 吉見直己 : 日本病理学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本臨床細胞学会 ( 評議員及び東海連合会幹事及び岐阜県支部長 , 継続中 ), 日本細胞診断学推進協会 ( 代議員 , 継続中 )

講師 原 明 : 日本脳神経外科学会 ( 評議員 , 継続中 )

( 病理学第二講座 )

教授 高見 剛 : 病理学会 ( 評議員 , 継続中 ), 免疫学会 ( 運営委員 -1998 )

( 微生物学講座 )

教授 江崎孝行 : 日本細菌学会 ( 評議員 ; 1997-1999 , 理事 ; 2000 , 日中微生物国際交流委員 , 日本細菌学会微生物用語委員 , 日本細菌学会バイオセーフティー委員 ), 日本感染症学会 ( 評議員 ), 日本環境感染学会 ( 評議員 ), 日本臨床微生物学会 ( 理事 : 1997-99 , 評議員 ; 2000 ) 国際微生物連盟 ( 裁定委員 ), 国際微生物連盟 ( ブドウ球菌・連鎖球菌命名賞委員 ), Bergy's Manual 国際顧問 , 日本細菌学会技術講習会の開催 ( 1999 )

( 衛生学講座 )

助教授 井奈波良一 : 日本衛生学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本産業衛生学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本民族衛生学会 ( 評議員 , 継続中 ), 日本温泉気候物理医学会 ( 評議員 , 継続中 )



(公衆衛生学講座)

教授 清水弘之：日本公衆衛生学会(評議員,1994-),日本産業衛生学会(評議員,1996-),日本衛生学会(評議員,1989-),日本疫学会(評議員,1991-),日本がん疫学研究会(幹事,継続中),日本癌学会(評議員,1994-),大気環境学会(理事,継続中)

助教授 川上憲人：日本衛生学会(評議員,1994-),日本産業衛生学会(評議員,継続中,教育資料委員会委員,1997-,産業保健活動の評価に関する委員会委員,2000-),日本産業ストレス学会(理事,1996-),日本産業精神保健学会(理事,1994-),日本ストレス学会(理事,1994-),日本行動医学会(理事,1994),日本疫学会(評議員,1996-)

永田知里：日本がん疫学研究会(幹事,2000-)

(法医学講座)

教授 大谷 勲：5th International Symposium on Advances in Legal Medicine(会長,1999-),日本法医学会(評議員,継続中),日本賠償科学会(評議員,継続中),日本鑑識科学技術学会(評議員,継続中,副理事長,2000-)

助教授 武内康雄：日本法医学会(評議員,継続中),法医病理研究会(運営委員,継続中)

助手 永井 淳：日本毛髪美容学会(評議員,継続中)

(寄生虫学講座)

教授 高橋優三：日本寄生虫学会(評議員 継続中),日本衛生動物学会西日本支部(幹事 継続中),International Commission on Trichinellosis(active member),日本臨床寄生虫学会(評議員 継続中)

(スポーツ医・科学講座)

講師 長崎幸雄：日本神経科学会(専門会員,継続中),日本運動生理学会(評議員,継続中),日本生理学会(評議員,継続中)

(内科学第一講座)

教授 森脇久隆：日本臨床分子医学会(評議員,1991-),日本消化器病学会(評議員,1992-),日本肝臓学会(評議員,1994-),日本ビタミン学会(評議員,1994-,幹事,1997-),日本内科学会(評議員,1998-)

助教授 加藤則廣：日本消化器病学会(支部評議員,1995-),日本消化器内視鏡学会(支部評議員,1997-)

講師 奥野正隆：日本臨床分子医学会(評議員,1998-),日本消化器病学会(支部評議員,1998-),日本肝臓学会(支部評議員,1999-)

助手 永木正仁：日本人工臓器学会(評議員,1999-),日本消化器病学会(支部評議員,1999-),日本肝臓学会(支部評議員,1999-)

助手 安藤量基：日本臨床分子医学会(評議員,1999-)

助手 白鳥義宗：日本臨床分子医学会(評議員,1998-)

助手 鶴見 寿：日本臨床血液学会(評議員,1998-)

(内科学第二講座)

教授 藤原久義：日本循環器学会(評議員・財務幹事, 継続中), 日本内科学会(評議員, 継続中), 日本動脈硬化学会(評議員, 1995-), 日本臨床生理学会(評議員, 1995-), 日本冠疾患学会(評議員, 1995-), 日本心不全学会(理事)

助教授 湊口信也：日本循環器学会(評議員), 日本循環制御医学会(評議員)

講師 鷹津久登：日本循環器学会東海地方会(評議員), 日本内科学会東海地方会(評議員)

講師 竹村元三：日本循環器学会東海地方会(評議員), 日本内科学会東海地方会(評議員)

(内科学第三講座)

教授 安田圭吾：日本内科学会(評議員, 1994 - ), 日本内科学会東海支部(幹事, 1994 - ), 日本内科学会(認定医制度審議会委員, 1994 - 1999, 生涯教育委員会委員, 2000 - ), 日本内分泌学会(評議員, 代議員, 1984 - ), 日本糖尿病学会(評議員, 1987 - ), 日本老年病学会(評議員, 1996 - ), 日本心血管内分泌代謝学会(評議員, 1996 - ), 日本内分泌学会ステロイドホルモン分科会(評議員, 1996 - ), 日本病態栄養学会(評議員, 2000 - ), 日本糖尿病療養指導士機構認定委員会(委員, 2000 - )

助教授 武田則之：日本内科学会東海地方会(評議員, 1995 - ), 日本内分泌学会(代議員, 1988 - ), 日本糖尿病学会(評議員, 1991 - ), 日本肥満学会(評議員, 1999 - )

講師 宗友厚：日本内分泌学会(代議員, 1998 - )

助手 山本眞由美：日本内分泌学会(代議員, 2000 - )

助手 猿井 宏：日本内分泌学会(代議員, 2000 - )

(外科学第一講座)

教授 広瀬 一：日本胸部外科学会(理事, 1998-), 日本心臓血管外科学会(理事, 1998-), 日本循環器学会(評議員, 1989-), 日本外科学会(評議員, 1990-), 日本移植学会(評議員, 1988-), 日本人工臓器学会(評議員, 1991-), 日本脈管学会(評議員, 1990-), 日本臨床外科医学会(評議員, 1989-), 日本小児外科学会(評議員, 1991-), 日本呼吸器外科学会(評議員, 1996), 日本血管外科学会(評議員, 1992)

(外科学第二講座)

教授 佐治重豊：日本外科学会(評議員, 1986-), 日本消化器外科学会(評議員, 1988-, 理事, 1995-), 日本癌学会(評議員, 1996-), 日本癌治療学会(評議員・理事 1986-, 監事 1999-), 日本臨床外科医学会(評議員, 1985-), 日本バイオセラピー学会(評議員・理事, 1988-), 日本小児外科学会(評議員, 1982-), 日本大腸肛門病学会(評議員, 1986-), 日本外科系連合学会(評議員, 1988-), 日本腹部救急医学会(評議員, 1990-), 日本肝胆膵外科学会(評議員, 1994), 日本低温医学会(評議員, 1986-), 日本緩和医療学会(評議員, 1996-), がん集学的治療研究財団(常任理事, 評議員, 企画委員長, 学術委員 1992-), 日本胃癌学会(評議員, 1998-), 日本消化器癌発生学会(評議員, 1998-), 癌免疫外科研究会(世話人), 癌治療と病態研究会(世話人), がん転移研究会(世話人), 日本癌局所療法研究会(世話人・会長, 1998-), 日本小児ストマ研究会(世話人), 日本小児消化管機能研究会(幹事), 癌とリンパ節研究会(世話人)

助教授 深田代造：日本乳癌学会(評議員, 1998-), 日本臨床外科医学会(評議員, 1996-)

講師 宮 喜一：日本バイオセラピー学会（評議員，1996-），日本臨床外科学会（評議員，1996-），日本低温医学会（評議員，1998-）

講師 国枝克行：日本胃癌学会（評議員，1998-），日本小児外科学会（評議員，1999-），日本癌治療学会（評議員，1999-），日本外科学会（評議員，2000-），癌と病態治療研究会（世話人，2000-）

助手 杉山保幸：日本バイオセラピー学会（評議員，1996-），日本癌治療学会（評議員，1999-），日本消化器外科学会（評議員，2000-）

#### （産科婦人科学講座）

教授 玉舎輝彦：日本産科婦人科学会（評議員，継続中），日本母性衛生学会（理事，-1999・会長，2000），日本不妊学会（評議員，継続中），日本思春期学会（理事，継続中），日本内分泌学会（理事，継続中）（卒後教育委員会生涯教育部会，1999-），日本ステロイドホルモン・生殖内分泌学会（理事，1998-），日本東洋医学会（評議員，継続中），日本癌治療学会（評議員，継続中），日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会（理事，継続中），日本化学療法学会（評議員，継続中），日本感染症学会（評議員，継続中），日本更年期学会（評議員，継続中），日本産婦人科・新生児血液学会（評議員，継続中），日本性感染症学会（評議員，継続中），東海産科婦人科学会（理事，継続中），日本産科婦人科学会岐阜地方部会（会長，継続中），岐阜県母性衛生学会（会長，継続中）

助教授 今井篤志：日本産科婦人科学会（評議員，継続中），日本内分泌学会（代議員，1998-），日本不妊学会（評議員，継続中），日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会（評議員，継続中），東海産科婦人科学会（評議員，継続中）

講師 藤本次良：日本内分泌学会（代議員，継続中），日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会（理事，2000-）

講師 伊藤直樹：日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会（評議員，継続中），日本産科婦人科学会岐阜地方部会（幹事，1999-），岐阜県母性衛生学会（幹事，1998-）

助手 川鱒市郎：日本産婦人科 ME 学会（幹事，継続中），日本産婦人科新生児・血液学会（評議員，継続中），日本超音波医学会（中部支部運営委員，継続中），日本周産期学会（幹事，1998-），世界周産期学会（secretary deputy，1999-），東海臍帯血バンク（運営委員，1998-）

助手 丹羽憲司：日本婦人科悪性腫瘍化学療法学会（評議員，継続中），婦人科がん化学療法共同研究会（子宮がんプロトコール委員，継続中），日本内分泌学会（代議員，2000-）

助手 三鴨廣繁：日本化学療法学会（評議員，継続中），日本感染症学会（評議員，継続中），日本臨床微生物学会（評議員，継続中），岐阜県母性衛生学会（幹事，継続中）

#### （整形外科科学講座）

教授 清水克時：国際整形外科学会（SICOT）正会員，日本脊椎外科学会（評議員，プログラム委員，渉外委員会委員，会則検討委員），日本整形外科学会（認定医試験委員，移植問題等検討委員会委員長，中部地区資格認定委員会委員，学術集会プログラム委員，学会奨励賞選考委員会選考委員，Q & A 委員会委員評議員），日本リウマチ関節外科学会（評議員），日本軟骨代謝学会（理事），中部日本整形外科災害外科学会（評議員，プログラム委員），日本結合組織学会（評議員），日本脊椎インストゥルメンテーション研究会（幹事），中部リウマチ学会（評議員），東海脊椎外科研究会（幹事），東海骨・軟骨研究会（世話人），診断・治療手技研究会（世話人），岐阜県画像医学研究会（世話人），日本側弯症学会（幹事），岐阜感染症談話会（世話人）

助教授 系数万正：日本整形外科学会（認定医試験委員）、厚生省外国人医師指導医、日本リウマチ学会（評議員、指導医）、日本リウマチ関節外科学会（評議員）、日本股関節学会（評議員）、Hip Forum（幹事）日本結合組織学会（評議員）、日本輸血学会東海支部（評議員）、中部日本整形外科災害外科学会（評議員）、中部リウマチ学会（評議員）、東海関節外科研究会（幹事）、東海関節鏡研究会（幹事）、岐阜人工関節フォーラム幹事、岐阜リウマチ研究会（常任幹事）

講師 細江英夫：中部日本整形外科災害外科学会（評議員）、東海脊椎外科研究会（幹事）、岐阜脊椎カンファランス（幹事）、岐阜県整形外科集談会（幹事）

講師 西本 裕：中部日本整形外科災害外科学会（評議員）、東海骨軟部腫瘍研究会（幹事）、骨軟部肉腫治療研究会（幹事）、岐阜自己血輸血研究会（幹事）、岐阜骨・軟部腫瘍 Clinical Conference（会長）

#### （脳神経外科学講座）

教授 坂井 昇：日本脳神経外科学会（評議員）、日本脳卒中学会（評議員）、日本脳循環代謝学会（評議員）、日本脳卒中の外科研究会（運営委員）、日本小児神経外科学会（世話人）、日本脳腫瘍の外科学会（運営委員）、日本神経外傷学会（世話人）、日本脳ドック学会（評議員）、日本脳神経 CI 学会（世話人）、Active Member of International Society for Pediatric Neurosurgery

助教授 西村康明：日本脳神経外科学会（評議員）

講師 篠田 淳：日本脳神経外科学会（評議員）

講師 岩間 亨：日本脳神経外科学会（評議員）

併任講師 郭 泰彦：日本脳神経外科学会（評議員）

助手 村瀬 悟：日本脳神経外科学会（評議員）

助手 野田 伸司：日本脳神経外科学会（評議員）

#### （眼科学講座）

教授（2000.4. より名誉教授）北澤克明：国際緑内障学会（名誉会長、1998-）、国際視野学会（副会長、1995-）、アジア・オセアニア緑内障学会（会長、1996-）、日本眼科学会（評議員、継続中）、日本眼科手術学会（理事、継続中）、日本緑内障学会（理事長、継続中）、日本眼薬理学会（理事、継続中）、日本眼科 ME 学会（理事、継続中）、チリ眼科学会（名誉会員、継続中）、イタリア緑内障学会（名誉会員、継続中）、Helen Keller Prize (USA)（選考委員）

助教授 山本哲也：日本眼科学会（評議員、継続中）、日本緑内障学会（評議員、継続中）、日本眼薬理学会（評議員、継続中）、国際緑内障学会（会員、継続中）

講師 杉山和久：日本緑内障学会（評議員、継続中）

講師 谷口徹：日本緑内障学会（評議員、継続中）、日本眼薬理学会（評議員、継続中）

#### （耳鼻咽喉科学講座）

教授 伊藤八次：日本耳鼻咽喉科学会（評議員、継続中）、日本耳鼻咽喉科学会中部地方部会連合会（運営委員、1999-）、日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会（運営委員、継続中）、日本めまい平衡医学会（評議員、継続中）、耳鼻咽喉科臨床学会（運営委員、1999-）、日本耳科学会（評議員、1999-）、日本鼻科学会（評議員、1999-）、日本口腔咽頭科学会（評議員、1999-）、日本喉頭科学会（評議員、1999-）、日本気管食道科学会（評議員、2000-）、日本頭頸部外科学会（評議員、1999-）、日本耳鼻咽喉科感染症研究会（運営委員、2000-）、耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会（評議員、1999-）、

耳鼻咽喉科情報処理研究会（幹事，継続中），東海めまい平衡障害研究会（世話人，1999-），東海メニエール病研究会（世話人，1999-），東海咽喉頭異常感症研究会（世話人，1999-），東海耳鼻咽喉科生体防御研究会（世話人，1999-），日本レーザー医学会東海支部会（評議員，1999-）

助教授 水田啓介：日本めまい平衡医学会（評議員，継続中），日本耳鼻咽喉科学会中部地方部会連合会（運営委員，1999-），日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会（運営委員，1999-），東海花粉症研究会（世話人，継続中），東海めまい平衡障害研究会（幹事，1999-），東海メニエール病研究会（幹事，継続中）

#### （皮膚科学講座）

教授 北島康雄：日本研究皮膚科学会（理事長），日本皮膚科学会（評議員），日本医真菌学会（評議員），日本乾癬学会（理事），日本電顕皮膚生物学会（運営委員），日本結合織学会（評議員），JICA 第三国集団研修短期個別専門家派遣員（タイ国立皮膚病研究所），International Investigative Dermatology: Intersociety Planning Member（国際企画委員）

助教授 高木 肇：日本皮膚科学会東海地方会（評議員）

講師 神谷秀喜：日本皮膚外科学会（評議員） 岐阜外科侵襲研究会（世話人）

#### （泌尿器科学講座）

教授 出口隆：日本泌尿器科学会（評議員，教育委員会委員，学術委員会内学会賞・坂口賞選考委員，継続中），日本化学療法学会（評議員，臨床試験委員会プロトコル作成委員会（泌尿器科系）委員，継続中），日本性感感染症学会（幹事，継続中），尿路感染症研究会（幹事，継続中），泌尿器科分子・細胞研究会（世話人，継続中），日本泌尿器科学会東海地方会（運営委員，継続中）

助教授 石原哲：日本泌尿器科学会（voting member，継続中），日本化学療法学会（評議員・臨床評価法制定委員会泌尿器系委員，継続中）

講師 高橋義人：日本泌尿器科学会（voting member，継続中）

#### （神経精神医学講座）

教授 小出浩之：日本精神病理学会（評議員，継続中）；岐阜県精神科医会（会長，継続中）；岐阜思春期研究会（会長，継続中）；岐阜臨床心理研究会（会長，継続中）。講師 高岡 健：日本精神神経学会（評議員，継続中）；日本精神神経学会（卒後教育いふししゅ検討委員会委員，継続中）；日本児童青年精神医学会（評議員・理事，継続中）；日本児童青年精神医学会（福祉と法に関する委員会委員，1999-）；日本児童青年精神医学会（医療費問題委員会委員，継続中）；日本総合病院精神医学会（評議員，継続中）；日本総合病院精神医学会（在り方・渉外委員会委員，継続中）；東海精神神経学会（運営委員会事務局長，継続中）東海リエゾン研究会（世話人，1998-）；岐阜思春期研究会（副会長，継続中）

#### （小児科学講座）

教授 近藤直実：日本小児科学会（評議員，1996 - ，代議員，2000 - ，施設認定指導責任医，1985 - ），日本アレルギー学会（評議員，1986 - ，指導医，1991 - ，専門医，1991 - ，認定医，1989 - ），日本小児アレルギー学会（評議員，1993 - ，理事，1994 - 1997），日本小児科学会東海地方会（幹事，1995 - ，理事，1997 - ），日本人類遺伝学会（評議員，1997 - ，指導医，1995 - ，認定医，1994 - ），日本小児遺伝医学会（幹事，1997 - ），日本小児科学会（認定医試験（出

題担当)委員,1997 - ),日本アレルギー学会(認定医・認定専門医試験問題作成委員,1997 - ),日本ムコ多糖症研究会(幹事,1997 - ).日本遺伝子診療学会(評議員,1999 - ),日本小児保健協会(評議員,1998 - ),日本アレルギー協会(評議員,1999 - ,理事,2000 - )

助教授 鈴木康之:日本小児科学会(代議員,2000 - ),日本先天代謝異常学会(評議員,継続中)日本人類遺伝学会(評議員,継続中),日本小児神経学会(評議員,継続中),日本小児遺伝医学学会(幹事,継続中),日本ムコ多糖症研究会(幹事,1997 - ),日本リピドーシス研究会幹事(1998 - ),東海臨床遺伝・代謝懇話会(世話人,継続中),遺伝性疾患の生殖・遺伝学研究会発起人(1998 - )

#### (放射線医学講座)

教授 星 博昭:日本医学放射線学会(専門医,1984-;評議員,1993-;専門医認定委員,1995-),日本医学放射線学会・中部地方会(世話人,1995-),日本核医学会(認定医,1990-;評議員,1993-),日本核医学会・中部地方会(世話人,1995-),北関東医学会(評議員,1995-),断層映像研究会(評議員,1997-),日本画像医学会(評議員,1998-),日本心臓核医学会(評議員,1998-),電子医療情報フォーラム(評議員,1999-),脳神経核医学研究会(世話人,1999-)

助教授 松井英介:日本気管支学会(評議員,1993-;監事,1996-),日本気管支学会・中部支部会(評議員,1993-),日本肺癌学会(評議員,1993-;気管支鏡所見分類委員,1986-),中部肺癌学会(評議員,1993-),日本がん検診診断学会(評議員,1998-),日本気胸学会(評議員,1998-),日本気管支学会(気管支鏡指導医,1999-),日本呼吸器学会(専門医,1995-),11th World Congress for Bronchology(プログラム委員,1998-)

助教授 後藤裕夫:日本医学放射線学会・中部地方会(世話人,2000-),日本消化器集団検診学会(評議員,1993-)

講師 兼松雅之:日本肝動脈塞栓療法研究会(世話人,1997-),日本血管造影・IVR学会・中部地方会(世話人,2000-)

助手 桐生拓司:日本気管支学会(気管支鏡指導医,2000-)

#### (麻酔・蘇生学講座)

教授 土肥修司:日本麻酔科学会(理事・評議員,1989-),日本集中治療学会(評議員,1989-),日本麻酔・薬理学会(理事,1993-),日本ペインクリニック学会(理事・評議員,1994-),世界麻酔学会(誘致委員,1995-),麻酔指導医認定委員(1995-),日本臨床モニター学会(評議員,1995-),日本臨床麻酔学会(理事・評議員,1995-),日本蘇生学会(評議員,1995-),日本手術部医学会(評議員,1995-),日本医療帰省支援システム(幹事,1996-),日本循環制御医学会(評議員,1996-)

#### (臨床検査医学講座)

教授 清島 満:日本臨床病理学会(評議員,1996 - ,臨床化学専門部会委員,1998 - ),日本動脈硬化学会(評議員,1996 - ),日本臨床化学会(評議員,1997 - ),日本臨床検査自動化学会(評議員,1996 - ),日本臨床代謝学会(評議員,1997 - )

助教授 下川邦泰:日本臨床病理学会(評議員,1988 - ),日本病理学会(評議員,1970 - ),日本外科病理学会(プログラム委員会委員,1996),日本食道疾患研究会(病理組織検討委員会委員,1998 - )

講師 斉藤邦明:日本トリプトファン研究会(評議員,1995 - )

( 口腔外科学講座 )

教授 立松憲親 : 日本口腔外科学会 ( 認定医 , 指導医・評議員 , 継続 ) , 日本口腔科学会 ( 評議員 , 継続 ) , 日本口腔インプラント学会 ( 指導医・理事 , 継続 ) 日本顎関節学会 ( 指導医・認定医 ) , 日本口腔粘膜学会 ( 評議員 ) , 日本口腔腫瘍学会 ( 評議員 ) , 口腔顎顔面研究会 ( 理事・評議員 )

( 反射研究施設 )

教授 松波謙一 : 日本生理学会 ( 評議員 ) , 日本神経科学会 ( 評議員 ) , 日本宇宙航空環境学会 ( 理事 , 評議員 ) , 日本生体磁気学会 ( 評議員 ) , 日本宇宙生物学会 ( 幹事 , 評議員 ) , 非侵襲脳機能研究会 ( 幹事 ) , 日本パーチャルリアリティ学会 ( 理事 ) , 日本臨床神経生理学会 , Aerospace Medical Association ( 終身 ) , IBRO ( 国際脳研究機構 ) , 日本発汗学会 ( 幹事 )

川島卓 : 日本生理学会 ( 評議員 ) , 日本神経科学会 , 日本神経回路学会 , 米国神経科学協会

( 嫌気性菌実験施設 )

教授 渡邊邦友 : 日本感染症学会評議員 ( 1985- ) , 日本細菌学会評議員 ( -1998 , 2000- ) , 日本化学療法学会評議員 ( 1984- ) , 日本臨床微生物学会評議員 ( 1991- )・幹事 ( 1991-1995 ) 理事 ( 1996-2000 ) , 日本臨床病理学会評議員 ( 1990- ) , 臨床微生物迅速診断研究会幹事 ( 1987- ) 事務局幹事 ( 1995- ) , 日本嫌気性菌感染症研究会運営委員 事務局幹事 ( 2000- )

助教授 加藤直樹 : 日本感染症学会 ( 1985- ) , 日本細菌学会評議員 ( 1993- ) , 日本化学療法学会評議員 ( 1987- ) , 日本臨床微生物学会評議員 ( 1990- ) 幹事 ( 2000- ) , 日本性感染症学会評議員 ( 1988- ) , 日本嫌気性菌感染症研究会運営委員 ( 2000- )

( 動物実験施設 )

助教授 杉江茂幸 : 日本病理学会 ( 評議員 , 継続中 ) , 日本臨床細胞学会 ( 東海連合会幹事、継続中 ) , 日本毒性病理学会 ( 評議員 , 継続中 )

( 薬剤部 )

教授 片桐義博 : 日本臨床薬理学会 ( 評議員 , 1995 - ) , 日本病院薬学会 ( 評議員 , 1996 - ) , 日本 TDM 学会 ( 評議員 , 1996 - )

( 輸血部 )

講師 大塚節子 : 日本輸血学会評議員 ( 1992- ) , 日本輸血学会東海支部会幹事 ( 1992- ) , 日本輸血学会適正委員会 I & A 小委員会委員 ( 1998- ) , 日本輸血学会輸血療法委員会 I & A 小委員会委員 ( 1999- ) , 日本アフエレーシス学会中部地方会世話人 ( 1997- ) , 第 3 2 回日本輸血学会東海支部会学術集会例会長 ( 1998 ) , 日本血液代替物学会評議員 ( 1999- ) , 日本輸血学会査読

( 救急部 )

助教授 林 勝知 : 日本救急医学会東海地方会 理事

( 総合診療部 )

教授 石塚達夫 : 日本内科学会内科専門医会 ( 評議員 ) , 日本内科学会東海支部 ( 評議員 ) , 日本内科学会専門医 , 認定医 , 日本糖尿病学会 ( 評議員 ) , 日本糖尿病学会指導医 , 専門医 , 日本糖尿

病協会国際委員，日本内分泌学会（評議員，代議員，日本内分泌学会専門医試験部会），日本内分泌学会専門医，日本病態栄養学会（評議員），日本消化器内視鏡学会指導医，認定専門医，日本消化器病学会認定医・助教授 森田浩之：日本内科学会専門医，認定医，日本内分泌学会（代議員）  
日本内分泌学会専門医，日本糖尿病学会専門医  
講師 宇野嘉弘：日本内科学会認定医

（高齢医学講座）

教授 犬塚 貴：日本神経学会（評議員，1993-），日本内科学会（評議員，2000-），日本老年医学会（評議員，1999-），日本神経免疫学会（評議員，1998-），日本神経感染症研究会（世話人，1999-）

（医療情報部）

教授 紀ノ定保臣：日本医療情報学会（評議員），日本磁気共鳴医学会（広報委員，評議員），日本医学放射線学会（代議員），厚生科学研究（遠隔医療研究班）放射線画像連携班（班員，1998）

（2）学会誌の編集委員等

（解剖学第一講座）

教授 正村静子：Clinical Anatomy（編集委員）

（生化学講座）

野澤義則：Molecular Membrane Biology（編集委員），Biochimica et Biophysica Acta；Review of Biomembranes（編集委員），Chemistry and Physics of Lipids（編集委員），Platelets（編集委員），Journal of Medical Mycology（編集委員），Journal of Eukaryotic Microbiology（編集委員），European Journal of Protistology（編集委員），Journal de Mycologie Medicale（編集委員），日本膜学会誌（編集委員）

（薬理学講座）

教授 植松俊彦：臨床薬理（編集委員長），Therapeutic Drug Monitoring（編集委員），Drugs & Therapy Perspectives（編集委員），老年消化器病（編集委員）

（病理学第一講座）

教授 森 秀樹：Jpn. J. Cancer Res.（編集委員），Rev. Mutat. Research（編集委員），J. Toxicol. Sciences（編集委員），Asian Pacif. J. Cancer Prev.（編集委員）

（微生物学講座）

教授 江崎孝行：MICROBIOLOGY AND IMMUNOLOGY（編集委員），日本微生物資源学会誌（編集委員）

併任講師 河村好章：日本微生物資源学会誌（編集委員）

（衛生学講座）

助教授 井奈波良一：産業衛生学雑誌および Journal of Occupational Health（編集委員，-1999）



(公衆衛生学講座)

教授 清水弘之 : Japanese Journal of Cancer Research (編集委員), 日本公衆衛生雑誌 (編集委員)  
助教授 川上憲人 : American Journal of Health Behavior (編集委員), International Journal of Behavior Medicine (編集委員), 日本衛生学雑誌および Environmental Health and Preventive Medicine (編集委員), タイプ A (編集委員), ストレス科学 (編集委員), 産業ストレス研究 (編集委員), 日本産業衛生学雑誌 (編集委員)

(法医学講座)

助教授 武内康雄 : 法医病理 (編集委員)

(内科学第一講座)

教授 森脇久隆 : 医学と薬学 (編集委員), Internal Medicine (編集委員), Journal of Gastroenterology (編集委員), Journal of Cancer Research & Clinical Oncology (編集委員)

(内科学第二講座)

教授 藤原久義 : 日本循環器学会誌 (編集委員), J Cardiac Failure (編集委員), Heart & Vessel (編集委員)

(外科学第二講座)

教授 佐治重豊 : 日本消化器外科学会誌 (編集委員長), 日本外科学会誌 (SURGERY TODAY) (編集委員), 日本外科系連合学会誌 (編集委員), Biotherapy (編集委員)

(産科婦人科学講座)

教授 玉舎輝彦 : 日本東洋医学会 (編集委員), Oncology & Chemotherapy (編集委員)  
助教授 今井篤志 : Oncology Reports (編集委員)  
講師 藤本次良 : 日本産科婦人科学会 (編集レフリー)  
助手 三鴨廣繁 : 日本化学療法学会 (編集委員)

(整形外科学講座)

教授 清水克時 : Orthopaedic Today (Editor) 臨床整形外科 (編集委員), Journal of Orthopaedic Science (査読委員), 痛みと治療 (編集同人)  
助教授 系数万正 : 中部日本整形災害外科学会 (編集委員)

(眼科学講座)

教授 山本哲也 : 日本眼科紀要 (編集委員), 日本眼科学会雑誌 (編集委員), あたらしい眼科 (編集委員), Japanese Journal of Ophthalmology (編集委員), Clinical Drug Investigation (編集委員), Bio Drugs (編集委員), Journal of Glaucoma (編集委員), Current Eye Research (編集委員), British Journal of Ophthalmology (編集委員), Investigative Ophthalmology and Visual Science (編集委員), Experimental Eye Research (編集委員), Survey of Ophthalmology (編集委員)

(耳鼻咽喉科学講座)

教授 伊藤八次：日本耳鼻咽喉科学会会報(査読委員,1999-),耳鼻咽喉科臨床(査読委員,1999-)

(皮膚科学講座)

教授 北島康雄：Journal of Dermatological Science (Japan, associate Editor)

(泌尿器科学講座)

教授 出口隆：International Journal of Urology (Editorial Board)

(小児科学講座)

教授 近藤直実：Acta Paediatrica Japonica (編集委員,1996 - ),アレルギーの領域(編集顧問,1996 - ),日本小児アレルギー学会誌(編集委員,1997 - ),Journal of Investigational Allergology & Clin Immunology (編集委員,1998 - ),免疫アレルギー懇話会(企画委員,1998 - ),International Review of Asthma (編集委員,2000-)

講師 高橋幸利：日本てんかん学会誌「てんかん研究」(編集委員,1997 - )

(放射線医学講座)

教授 星 博昭：断層映像研究会(編集委員),Radiation Medicine(編集委員)

助教授 松井英介：日本気管支学会誌(編集委員),日本気管支学会中部支部会,気管支鏡所見の読み(編集委員)

(麻酔・蘇生学講座)

教授 土肥修司：日本ペインクリニック学会機関誌(編集委員,1994-),Journal of Anesthesia(日本麻酔学会誌,Editor,1995-)

(臨床検査医学講座)

教授 清島 満：臨床検査技師国家試験出題委員(1999 - ),臨床病理(査読委員),動脈硬化(査読委員),Ann Clin Biochem(査読委員),臨床検査機器・試薬(編集同人)

講師 斉藤邦明：Brain Research(査読委員),J Neurochemistry(査読委員),J Histochem Cytochem(査読委員),Ann Clin Biochem(査読委員)

(嫌気性菌実験施設)

教授 渡邊邦友：日本嫌気性菌感染症研究会(編集委員),臨床微生物迅速診断研究会(編集委員),臨床病理(査読委員),Journal of Infection and chemotherapy(Editorial board),Microbiology and Immunology(査読委員)

助教授 加藤直樹：日本臨床微生物学会(編集委員)

(薬剤部)

教授 片桐義博：TDM研究(編集委員)

### (3) 学会等の主催

#### (生理学第一講座)

第4回「予測制御の生理学」研究会(1998年12月4日-12月5日,岡崎国立共同研究機構生理学研究所,代表者:森田啓之)

第5回「予測制御の生理学」研究会(1999年12月3日-12月4日,岡崎国立共同研究機構生理学研究所,代表者:森田啓之)

#### (生化学講座)

第31回日本原生動物学会(1998年11月14-15日,岐阜大学医学部,野澤義則)

#### (薬理学講座)

教授 植松俊彦:第2回日本臨床毛髪分析研究会 1998年6月24-25日 大津市比叡山荘

第3回日本臨床毛髪分析研究会 1999年6月25-26日 大津市比叡山荘

#### (病理学第一講座)

第37回細胞検査士ワークショップ(1998年9月5-6日,岐阜,吉見直己)

第28回日本環境変異原学会(1999年12月1-3日,岐阜,森 秀樹)

第16回日本毒性病理学会(2000年1月26-27日,岐阜,森 秀樹)

#### (衛生学講座)

第57回日本公衆衛生学会総会(1998年10月28日-30日,岐阜,岩田弘敏)

#### (公衆衛生学講座)

第46回東海公衆衛生学会(2000年7月22日,岐阜大学医学部講堂,講義室,担当:岐阜大学医学部公衆衛生学教室)

#### (法医学講座)

第34回日本賠償科学学会研究会(1999年6月5日,未来会館,大谷 勲)

#### (寄生虫学講座)

第32回東海寄生虫談話会(平成10年6月20日,岐阜市,高橋優三)

#### (内科学第二講座)

教授 藤原久義:第26回岐阜県内科医会講演会(平成9年10月26日),第27回岐阜県内科医会講演会(平成10年4月5日),第28回岐阜県内科医会講演会(平成10年10月4日),第29回岐阜県内科医会講演会(平成11年4月11日),第178回日本内科学会東海地方会(平成11年6月5日),第109回日本循環器学会東海地方会(平成11年6月12日),第27回内科学の展望(平成11年10月26日),第13回日本臨床内科医学会(平成11年10月9~11日),第30回岐阜県内科医会講演会(平成11年10月24日),第21回心筋生検研究会(平成11年10月29~30日),日本循環器学会第110回東海・第95回北陸合同地方会(平成11年11月20~21日)

(外科学第一講座)

第42回日本胸部外科学会関西地方会(平成11年6月17日・18日,長良川国際会議場・岐阜ルネッサンスホテル,会長 広瀬 一)

(外科学第二講座)

第21回日本癌局所療法研究会(1999年6月11日,未来会館,佐治重豊),第37回日本癌治療学会総会(1999年10月12-14日,長良川国際会議場,岐阜ルネッサンスホテル他,佐治重豊),第31回癌とリンパ節研究会(1999年10月14日,長良川国際会議場,佐治重豊)

(産科婦人科学講座)

第18回産婦人科漢方研究会(1998年9月13日,岐阜,長良川国際会議場,玉舎輝彦)  
平成12年度日本不妊学会中部支部学術集会(2000年5月27日,岐阜,岐阜県医師会館,玉舎輝彦)  
第18回日本産婦人科感染症研究会(2000年7月15日,岐阜,長良川国際会議場,玉舎輝彦)

(整形外科学講座)

第180回整形外科集談会東海地方会(平成12年6月17日,名古屋,清水克時)

(眼科学講座)

Asian-Oceanic Glaucoma Society(平成11年10月3日-6日,笹川記念館,北澤克明),第53回日本臨床眼科学会(平成11年10月7日-10日,東京国際フォーラム,北澤克明)

(耳鼻咽喉科学講座)

第46回日本耳鼻咽喉科学会中部地方部会連合会(1998年7月18日,ホテルグランヴェール岐山,宮田英雄),第94回日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会(1998年9月13日,岐阜大学医学部講堂,宮田英雄),第57回日本平衡神経科学会総会(1998年11月26-27日,岐阜グランドホテル,宮田英雄),第101回日本耳鼻咽喉科学会東海地方部会(2000年6月18日,岐阜大学医学部講堂,伊藤八次)

(皮膚科学講座)

日本皮膚科学会東海地方会(1998.12., 2000.6., 2000.9., 北島康雄)  
第25回日本研究皮膚科学会総会・学術大会(2000, 北島康雄)

(泌尿器科学講座)

第40回東海ストーマリハビリテーション研究会(1999年11月6日,岐阜大学医学部講堂,出口隆),第206回日本泌尿器科学会東海地方会(1999年12月12日,名古屋,中外東京海上ビルディング,出口隆)

(放射線医学講座)

日本医学放射線学会・第128回中部地方会(2000年6月17-18日,岐阜大学医学部,星 博昭)  
日本核医学会・第51回中部地方会(2000年6月17日,岐阜大学医学部,星 博昭)  
日本血管造影・IVR学会・第9回中部地方会(2000年6月17日,岐阜大学医学部,兼松雅之)

( 麻醉・蘇生学講座 )

第 17 回日本蘇生学会 ( 平成 10 年 9 月 25 ~ 26 日 , 長良川国際会議場 会長 : 土肥修司 )

( 嫌気性菌実験施設 )

第 28 回嫌気性菌検査技術講習会 ( 平成 10 年 7 月 26 日 ~ 7 月 31 日 , 岐阜大学 ) , 第 29 回嫌気性菌検査技術講習会 ( 平成 11 年 7 月 19 日 ~ 7 月 23 日 , 岐阜大学 ) , 第 30 回嫌気性菌検査技術講習会 ( 平成 12 年 7 月 24 日 ~ 7 月 28 日 , 岐阜大学 ) , 外国での嫌気性菌の講習会の開催 ( 平成 11 年 3 月 15 日 ~ 3 月 19 日 , フィリピン保健省 )

( 総合診療部 )

日本循環器学会専門医学会の主催 ( 国内 ) 第 4 回日本内科学会認定内科専門医会東海地方会 , 岐阜 , 平成 12 年 1 月 29 日

第 62 回日本糖尿病学会中部地方会 , 岐阜 , 平成 12 年 10 月 14 日

## 4 学術賞等の受賞状況 ( 1998 年 7 月 - 2000 年 6 月 )

---

---

森田啓之 : ソルト・サイエンス研究振興財団賞 ( 1998 年 )

野澤義則 : 第 9 回読売東海医学賞 ( 1998 年 2 月 23 日 ) 「細胞膜脂質シグナリングの分子メカニズム

松野弘之 : 日本薬理学会学術奨励賞 ( 1999 年 )

高田晴子 : 1999 年度日本臨床生理学会優秀論文賞 ( The relative vasucular age derived from acceleration plethysmogram: A new attempt )

森脇久隆 : 第 2 回織田賞 ( 日本肝臓学会賞 ) ( 1998 年 ) ; 財団法人東京生化学会研究助成 ( 1998 年 ) ; がん集学的治療研究財団第 19 回研究助成 ( 1998 年 ) ; ダノン健康・栄養普及協会平成 11 年度学術奨励金 ( 1999 年 ) ; 第 32 回がん研究助成金 ( 2000 年 )

奥野正隆 : 厚生省総合健康推進財団第 15 回研究奨励助成 ( 1998 年 )

安藤量基 : 平成 11 年度 「Liver Forum in Kyoto」研究奨励金 ( 1999 年 )

白鳥義宗 : 臨床薬理研究振興財団研究助成 ( 1998 年 ) ; 循環器学研究振興財団研究助成 ( 2000 年 ) ; 横山臨床薬理研究助成基金 ( 2000 年 )

西脇理英 : 公益信託 原口記念癌研究助成基金 ( 1999 年 )

酒々井真澄 : 第 13 回金原一郎記念医学医療振興財団研究交流助成 ( 1999 年 ) ; 平成 10 年度財団法人工藤学術財団学術研究補助 ( 1998 年 ) ; 平成 11 年度岐阜大学医学部学術振興基金助成 ( 1999 年 ) ; 第 16 回財団法人持田記念医学薬学振興財団留学補助金 ( 1999 年 )

富田政明

1. 日本心臓病学会 1998 年度上田賞

M. Tomita, K. Kagawa, T. Noda, K. Nishigaki, H. Fujiwara

Assessment of left atrial operative mean stiffness using simultaneous recordings of left ventricular pressure and M-mode echocardiography of left atrium and mitral valve

Journal of Cardiology 1997, 30(2):89-96

西垣和彦

1. 第 2 回日本心不全学会 YOUNG INVESTIGATOR'S AWARD 最優秀賞 (札幌) 1998,10.17

High Plasma Soluble Fas, an Inhibitor of Apoptosis, Definitely Improves Prognosis of Patients With Severe Chronic Heart Failure

2. 外山基金による国際交流助成 (金沢) 1998,10.24

Prognosis of Patients with Severe Chronic Heart Failure is Definitely Better in a Group with High Plasma Soluble Fas, an Inhibitor of Apoptosis

荒井正純

1. 平成 10 年度岐阜医学奨励賞 1998, 5.23

N-methyl-1-deoxyojirimycin(MOR-14), an  $\alpha$ -glucosidase inhibitor markedly reduced infarct size in rabbit hearts

川崎雅規

1. 外山基金による国際交流助成 (金沢) 1998, 10.24

Non-invasive quantitative tissue characterization of human atherosclerotic lesions in carotid and femoral arteries by ultrasound integrated backscatter

2. 外山基金による国際交流助成 (名古屋) 1999, 11.20

Quantitative tissue characterization of human atherosclerotic lesions in coronary arteries with integrated backscatter intravascular ultrasound color-coded mapping method

3. 岐阜県内科医会奨励賞 1999, 10.24

超音波 Integrated backscatter によるヒト総頸動脈・大腿動脈・冠動脈の組織性状診断

土屋邦彦

1. 第 15 回日本心電学会学術奨励賞 (鹿児島) 1998, 10.1-2

Functional compartmentalization of ATP is involved in angiotensin-II mediated closure of cardiac ATP-sensitive  $K^+$  channels

2. 第 5 回日本心臓財団 - ファイザー心血管病研究助成優秀賞 (京都) 2000,3.4

バゾプレッシンによるモルモットの心筋 ATP 感受性 K チャンネルの調節

早川幸博

1. 第 3 回日本心臓財団・ファイザー心血管病研究助成最優秀賞 (京都) 1998, 3.7

ヒト平滑筋増殖型動脈硬化進展におけるアポトーシスの役割と分子機構 —慢性腎不全シャントradial artery を用いた検討—

安田憲生

1. 岐阜県内科医会奨励賞 1998, 10.4

慢性閉塞性肺疾患における血漿可溶性 Fas (apoptosis 抑制因子) および可溶性 Fas ligand (apoptosis 促進因子) の検討 —特にその重症度および予後との関係について—

2. 平成 11 年度産業医学に関する調査研究助成金 (岐阜県労働基準協会連合会)

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) におけるアポトーシスの病態生理学的意義とそのメカニズムについて

青山琢磨

1. Banyu fellowship award

Lectin-like Oxidized LDL Receptor-1 (its cloning, genomic structure and transcriptional regulation)

2. 岐阜大学医学部学術振興基金

動脈硬化におけるレクチン様酸化 LDL 受容体 (LOX-1) の発現の調節と病態生理学的役割

加納素夫

1. 第 4 回日本心臓財団・ファイザー心血管病研究助成優秀賞 (京都) 1999, 3.6

アポトーシスのブロックによる心筋梗塞後肉芽組織内新生血管および筋線維芽細胞の温存療法 —心筋梗塞後の慢性心不全・再発作予防への新たなアプローチ—

山本眞由美：上原記念生命科学財団研究奨励金 (1998 年)

山本眞由美：第 4 回シンポジウム糖尿病研究奨励金 (2000 年)

大洞尚司：25<sup>th</sup> International Aldosterone Conference Searle Young Investigator Award (1999 年)

安藤智重：第 8 回日本 BRM 学会奨励賞 (1998 年、胃癌治癒切除例に対する術後補助療法非奏効例の原発巣とリンパ節転移巣での分子生物学的特徴 免疫組織学的検討から) 高橋禎雅：平成 10 年度日本外科系連合学会最優秀論文賞 (1999 年、免疫組織染色所見からみた原発性肝癌の癌部と非癌部におけるアポトーシス発現程度に関する研究) 高橋孝夫：第 12 回岐阜医学奨励賞 (2000 年、Identification of frequent impairment of the mitotic checkpoint and molecular analysis of the mitotic checkpoint genes, hsMAD2 and p53, in human lung cancers)

三嶋廣繁：岐阜医学協議会学術奨励賞 (2000 年)

大島康司：岐阜大学医学部学術振興基金，ヒトユーイング肉腫細胞におけるキメラ遺伝子とアポトーシス機構 (1999)

銅島大興：上原記念生命科学財団 海外留学助成金ポストドクトラルフェローシップ, Ewng 肉腫の遺伝子治療に関する研究 (1999)

宮本 敬：財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団, 体幹部スポーツウエアーの体幹位置覚・スポーツパフォーマンスへの影響 (2000)

赤池 敦：財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成, 滑膜線維芽細胞のアポトーシスにおける calpain の発現 (2000)

清水克時：中富健康科学振興財団研究助成金, 関節液アルブミンの酸化還元状態 (2000)

清水克時：財団法人整形災害外科学研究助成財団, 自己血を用いた椎間板ヘルニアの治療 (2000)

伊藤芳毅：文部省内地研究員, 股関節外科学 (2000)

児玉博隆：GICD・SSAF 2000 Fellowship Application , Total Spine: Advanced Concepts and Constructs (2000)

吉村紳一：岐阜医学奨励賞 (1999)

谷口徹：須田賞 (2000)

谷照斌：公益信託三島済一記念眼科研究国際交流基金 (2000年)

久世文也：第 57 回日本平衡神経科学会総会 (ポスター賞, 1998 年 11 月)

青山裕美：日本皮膚科学会皆見賞 (2000)

河田幸道：第 10 回日本化学療法学会志賀 潔・秦 佐八郎記念賞 (1998 年)

江原英俊：岐阜医学研究奨励賞 (1998 年)

根笹信一：第 15 回稲田賞 (1998 年)

植木啓文、小川直志：日本プライマリ・ケア学会平成 11 年度学術優秀論文賞, 脳血管障害慢性期患者の抑うつ状態を予測する因子についての検討 . 日本プライマリ・ケア学会誌 22(3);207-212,1999

近藤直実：財団法人臨床薬理研究振興財団研究奨励「喘息親子の QOL とそれによる薬剤の総合的評価に関する研究」(1998)



近藤直実：アストラ研究奨励助成金（日本アレルギー学会）「喘息の発症機構の解明 - 特に喘息をはじめとするアレルギーの病因遺伝子群の分子遺伝学的、構造生物学的解明」(1998)

深尾敏幸：平成 10 年度日本人類遺伝学会奨励賞「遺伝性ケトン体代謝異常症の診断、病因および病態解析に関する研究」(1998)

加藤善一郎：日本アイソトープ協会アイソトープ誌論文奨励賞「 $^{99m}\text{Tc}$ -ECD SPECT を用いた脳血流の加齢変化の評価 - Patlak Plot 法による検討」(1998)

下澤伸行：母子健康協会 平成 11 年度小児医学研究助成金「先天性代謝異常症における温度と発症機序の関連についての研究 ペルオキシソーム欠損症の温度感受性について」(1999)

下澤伸行：金原一郎記念医学医療振興財団 第 14 回基礎医学医療研究助成金「先天性代謝異常症における温度と発症機序の関連についての研究 ペルオキシソーム欠損症の温度感受性について」(1999)

下澤伸行：財団法人東海学術奨励会研究助成金「遺伝性疾患における体温上昇と発症機構の関連についての研究」(1999)

金子英雄：平成 10 年度岐阜医学奨励賞「発癌機構の解明：特に DNA 修復障害を示す疾患からのアプローチ」(1999)

金子英雄：財団法人森永奉仕会研究奨励金「DNA の複製・修復の異常により乳幼児期より高癌化を呈する遺伝性症候群の病態・治療法に関する研究」(1999)

金子英雄：日本アレルギー協会国際交流助成金「Bloom 症候群病因遺伝子 (BLM) の機能解析および相互作用するタンパクの同定」(1999)

深尾敏幸：平成 11 年度小野医学研究奨励助成金「先天性脂肪酸 酸化異常症，ケトン体代謝異常症の病態解析」(1999)

深尾敏幸：平成 11 年度上原記念生命科学財団海外留学リサーチフェローシップ「単球，マクロファージ系細胞での ATM 蛋白の機能解析」(1999)

今村 淳：平成 11 年度日本先天代謝異常学会奨励賞「ペルオキシソーム欠損症における温度感受性と臨床病型との相関についての研究」(1999)

近藤直実：財団法人森永奉仕会西暦 2000 年記念特別企画・最優秀研究賞「食物アレルギーをはじめとするアトピーの病因遺伝子群の遺伝子学的・構造生物学的解明と臨床応用」(2000)

深尾敏幸：平成 11 年度岐阜医学奨励賞「日本人 Ataxia-telangiectasia の分子病態と ATM (ataxia-telangiectasia mutated) 蛋白の末梢血単核球における誘導」(2000)

加藤善一郎：加藤記念バイオサイエンス研究振興財団第 12 回加藤記念海外派遣助成 (2000)

桐生拓司：第 27 回断層映像研究会展示大会長賞，肺腺癌の CT 所見 特に径 15mm 以下の小型肺腺癌について (1998 年 11 月 14 日)

塩谷真由美：第 8 回日本乳癌画像研究会優秀発表賞，乳房微細石灰化症例に施行した MR mammography の検討 (1999 年 2 月 27 日)

兼松雅之：日本磁気共鳴医学会国際飛躍賞，Pancreas and peripancreatic vessels: effect of imaging delay on gadolinium enhancement at dynamic gradient-recalled-echo MR imaging (1999 年 12 月 15 日)

松井英介：第 23 回日本気管支学会第 1 回大畑賞，気管支鏡による高周波治療． 至適条件設定のための基礎実験 (2000 年 6 月 8 日)

飯田宏樹：日本麻酔学会山村記念賞，アストラペイン研究奨励賞

譚志明：日本麻酔学会若手研究者奨励賞特別賞

竹村正男 (中央検査部)：第 15 回臨床検査精度管理奨励会 (2000 年)

中村敏彦他：日本臨床微生物学会奨励賞 (1999.1)

加藤はる他：岐阜医学奨励賞 (1999.5)

石塚達夫：第 3 回シンポジウム糖尿病研究奨励賞，1999 年

森田浩之、石塚達夫：日本内分泌学会 内分泌・代謝 up to date 優秀演題賞，2000 年

## 5 本学部における人体解剖の実情

---

日本の大学医学部ないしは医科大学においてなされている人体解剖については，その事実があるのにあまり公表されてこなかったためか，一般にはよく知られていないので，その実情をここに紹介して広く理解を得たい。

人類学，考古学などにおける解剖を別にすれば，医学上の解剖はその目的によって次のように分類される。

系統解剖 (死体解剖保存法第 1 条，第 10 条，第 12 条～第 19 条，第 21 条，第 22 条及び医学及び歯学の教育のための献体に関する法律第 1 条)

病理解剖 (死体解剖保存法第 1 条，第 2 条)

法理解剖 (諸法規に基づく公的解剖)

(1) 行政解剖

(2) 司法解剖

このようにいずれも明確に法定されたものであり、そうでなければ解剖とはいえ、死体を毀損することは宗教上、慣習上の問題があり、刑法によって禁止されている（同法第 190 条）。このため、人体解剖は以下に述べるように一定の明確な目的があり、かつ、限られた法定の条件のもとにのみ許される。即ち、解剖は解剖室において行い（死体解剖保存法第 9 条）、死体の取扱いについては特に礼を失しないよう注意し（同法第 20 条）、また、一定の有資格者でなければ解剖を行ってはならない（同法第 2 条）。

### 1. 系統解剖

医学の教育・研究のため、身体の正常な構造を明らかにする目的で行われるもので、医学・歯学に関する大学の解剖学講座において実施される“正常解剖”である。「医学及び歯学の教育のための献体に関する法律、昭和 58 年 5 月 25 日公布、法律第 56 号」に基づく、遺族の承諾を得た篤志献体に限られる。解剖に当たっては、本学では解剖学第一講座がテュートリアル人体構造コースにおいて脳以外の全身について、解剖学第二講座が神経・精神・行動コースにおいて脳について担当する。解剖学の教授・助教授の監督・指導のもとで医学部生は毎年 10 月から翌年 1 月にかけて解剖実習室において解剖学を学ぶ。平成 10・11 年度には 68 体の献体を受入れ、70 体の解剖を行った。またこの間、篤志解剖のために 201 名の方から生前のお申し込みがあり、その都度医学部長から感謝状が贈られた。解剖終了後は納棺して市営火葬場で火葬を行い、遺骨を遺族に返還するが、この時文部大臣からの感謝状が贈られる。

### 2. 病理解剖

病死者について体内の病変を明らかにするための解剖であり、遺族の承諾もとで行われる。（死体解剖保存法第 7 条）

本学では、病院病理部を分担する病理学第一講座及び同第二講座がこれを担当しており、平成 9 年度 85 体（内、受託解剖 9 体）、同 10 年度 83 体（内、受託解剖 4 体）、同 11 年度 82 体（内、受託解剖 9 体）であった。解剖体は全例、臨床・病理検討会において詳細に検討され、医学・医療の発展と医療の質の向上を図るために活用されている。また、同検討会は学部内に公開され、当該診療科の医師のみならず医学生への参加もあり、医師にあつては生涯学習の一つとして、また、学生にとっては医学・医療に関する学習意欲の向上に役立っている。

テュートリアル教育では、病理学第一講座及び同第二講座は「病因・病態」を、第二講座は「血液」及び「免疫・アレルギー」の各コースを分担しているが、詳細に検討された解剖例はそれらの中でも学習資料を作製する際の貴重な基礎資料として使用され、医学教育の向上に活用されている。一方、解剖で残された疑問点から研究課題が設定されことも少なからずみられ、病理解剖は医学・医療の発展にとって重要な役割を果たしている。

### 3. 法理解剖

公権力を行使して行われる解剖である。

#### (1) 行政解剖

##### a) 検疫法第 13 条による解剖

船舶・航空機を介してコレラ、ペスト、黄熱、痘そうなどの侵入を防止するため、検疫所長が必要と認めた場合には、可能な限り遺族の同意を得て解剖に付することができる。

##### b) 食品衛生法第 28 条による解剖

食品衛生上、死体の解剖が必要と考えられる場合には知事又は保健所を設置する市長は、可能な限り遺族の同意を得て解剖に付することができる。ただし、業務上過失致死の疑いがあれば司法解剖が優先する。

c) 死体解剖保存法第 8 条による監察医解剖

制令で定める地(東京, 横浜, 名古屋, 神戸) - 昭和 24 年当時は京都, 福岡も該当地であったが, 昭和 60 年に行政改革の一端としてこの 2 市は削除されて, 制度的には後退を余儀なくされた。 - を管轄する都道府県知事は, その地域内における伝染病, 中毒, 自殺, 災害などの疑いのある死体, 医師にかかっていないで死亡した死体, その他死因不明の死体については, 死因を究明するために監察医に検案させ(検案とは死体の外表を検査すること), 検案で死因が判明しない場合には解剖させることができる。ただし, 岐阜県では, 監察医解剖の行政制度の定めがなく, 辛うじて県警察本部捜査第 1 課の判断によって, 平成 10 年度から少数乍ら行政解剖的ないしはそれに準ずるものとして, 遺族の承諾の基に解剖がなされている。

なお, 刑事訴訟法第 229 条でいう変死体(狭義)については, 「検視」の後でなければ監察医は検案, 解剖を行ってはならない。また, この検視によって後述の司法解剖が必要と判断されると解剖前の臓器の摘出は不可能となり, 現状では実質的に移植医療はできないことになっている。

(2) 司法解剖

刑事訴訟法第 129 条, 第 168 条, 第 225 条によるもので, 最も強い公権力の発動による解剖である。それだけに裁判官の「鑑定処分許可状」(解剖令状)がなければ行うことはできない。検察官又は司法警察員が解剖を必要とする事由, 解剖を囑託する医師名などを付して裁判官に解剖令状の請求を行う。裁判官は, 解剖必要を認めた場合には許可状を発行する。検察官又は代行の司法警察員は, この許可状と「鑑定囑託書」(囑託したい鑑定事項を箇条書きで示したものを)を鑑定人である医師に示し, これに基づいて司法解剖が「立会官」の立会いのもとに開始される。囑託を受けた医師は, 解剖及びそれに付帯する必要な検査を終えた後に鑑定書を作成し, 鑑定を囑託した検察官又は司法警察員に鑑定書を提出する。この鑑定書は検察官(検事)によって公判廷に提出され, 「証拠調べ」の段階で, 被告人, 弁護人の同意を得てはじめて正式の鑑定書として採用される。

なお, 鑑定を行った医師が出廷を求められ, 鑑定内容について「証言」を行うことがある。また, 最初の鑑定人とは別の鑑定人に裁判所が「再鑑定」を命ずることがある。

この司法解剖は, 原則として医学部, 医科大学の法医学の教授, 助教授に囑託されているが, これは科学的で公正な判断が要請される業務を委ねるには, 学問の府であり, 中立が保障されている大学が最も相応しいと考えられているからである。

平成 9 年度に行った法医学講座の司法解剖は 56 体, 生体及び物体検査がそれぞれ 1 件, 同 10 年度は 44 体の司法解剖, 4 体の承諾解剖(準行政解剖), 1 件の物体検査, 同 11 年度は 68 体の司法解剖, 4 体の承諾解剖, 1 件の生体検査を行った。司法解剖例は増加の傾向にある。

